

弘前大学短期留学プログラム

授業科目シラバス

SYLLABUS OF INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

2023年度（前期・後期）

2023 I SEMESTER

2023 II SEMESTER

HIROSAKI UNIVERSITY

1 Bunkyo-cho, Hirosaki, JAPAN 036-8560

URL:<http://www.hirosaki-u.ac.jp>

目 次

2023 年度 授業日程	1
2023 年度 授業時間割表【前期】	2
2023 年度 授業時間割表【後期】	3
2023 年度弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目一覧	4
弘前大学総合教育棟配置図	6
弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目に関する細則	8
弘前大学短期留学プログラム規程	11

前期 (I SEMESTER)

1. 日本語基礎 A /Introductory Japanese A	13
2. 日本語初級 (総合 A) /Basic Japanese A	15
3. 日本語初級 (漢字・読解・作文 A) /Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing A	17
4. 日本語中級前半 (総合 A) /Intermediate Japanese 1 A	19
5. 日本語中級後半 (総合 A) /Intermediate Japanese 2 A	21
6. 日本語中級 (聴解 A) /Intermediate Japanese (Listening A)	23
7. 日本語中級 (スピーチ・ディスカッション A) /Intermediate Japanese (Speech & Discussion A)	25
8. 日本語中上級 (読解 A)【A1】 /Upper Intermediate Japanese (Reading A)【A1】	27
9. 日本語中上級 (作文 A)【A3】 /Upper Intermediate Japanese(Writing A)【A3】	28
10. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 A)【A5】 /Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)【A5】	30
11. 日本語中上級 (文法 A)【A7】 /Upper Intermediate Japanese(Grammar A)【A7】	32
12. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション A【A9】 /A Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A【A9】	33
13. 日本語上級 (読解 A)【B1】 /Advanced Japanese (Reading A)【B1】	35
14. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (聴解作文 A)【B3】 /Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)【B3】	37
15. サークル活動に見る日本社会 ① /Insights in Japanese society through circle activity ①	39
16. 芸術・津軽のアートとナラティブ-【教養】 /Art and narrative of the Tsugaru region	41
17. 日本美術史 /Japanese Art History	43
18. 地域プロジェクト演習・津軽地域文化国際共修 A-【教養】 /Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A-	44
19. 青森エクスカッション-Cultural anthropology of Exhibition-【教養】 /Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	47
20. 文学-日本の絵本の世界【教養】 /The world of Japanese picture books	49
21. 文学-日本の戦争文学【教養】 /Japanese war literature	50
22. 地域の多様性と活性化-多文化共生時代における自己のキャリアを考える①-【教養】 /Regional Diversity and Revitalization - Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society①-	52
23. 芸術-茶室の美学-【教養】 /The Aesthetics of the Japanese Tea Room	55
24. 言語学の世界-協定校の学生と交流しよう【教養】 /The World of Linguistics - Let's interact with the students from partner universities	57
25. インターンシップ A-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- /Internship A-Apple cultivation, product development, marketing-	60
26. インターンシップ A-観光 PR- /Internship A-Tour Promotion-	62
27. インターンシップ A-シティ・プロモーション- /Internship A-City Promotion-	64
28. インターンシップ A-Web マーケティング- /Internship A-web marketing-	66
29. インターンシップ A-地域ツーリズム- /Internship A-Regional Tourism-	68
30. 自主研究 I A	70

後期 (II SEMESTER)

1. 日本語基礎 B /Introductory Japanese B	71
2. 日本語初級 (総合 B) /Basic Japanese B	73
3. 日本語初級 (漢字・読解・作文 B) /Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing B	75
4. 日本語中級前半 (総合 B) /Intermediate Japanese 1 B	77
5. 日本語中級後半 (総合 B) /Intermediate Japanese 2 B	79
6. 日本語中級 (聴解 B) /Intermediate Japanese (Listening B)	81
7. 日本語中級 (スピーチ・ディスカッション B) /Intermediate Japanese (Speech & Discussion B)	82
8. 日本語中上級 (読解 B) 【A2】 /Upper Intermediate Japanese (Reading B) 【A2】	84
9. 日本語中上級 (作文 B) 【A4】 /Upper Intermediate Japanese(Writing A) 【A4】	85
10. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 B) 【A6】 /Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B) 【A6】	86
11. 日本語中上級 (文法 B) 【A8】 /Upper Intermediate Japanese(Grammar B) 【A8】	88
12. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション B【A10】 /A Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B 【A10】	89
13. 日本語上級 (読解 B) 【B2】 /Advanced Japanese (Reading B) 【B2】	91
14. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (聴解作文 B) 【B4】 /Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B) 【B4】	93
15. サークル活動に見る日本社会 ②/Insights in Japanese society through circle activity ②	95
16. 国際地域・社会・文化トランスナショナルリズムの音楽ー【教養】 /	97
17. 現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成【教養】 /Modern Japanese literature and the formation of identity	99
18. 地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修 B-【教養】 /Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B-	101
19. 現代日本学ー日本の表象文化【教養】 /Japanese Culture and Representation	104
20. 地域の社会・文化-津軽の近代文化史-【教養】 /Survey of the modern cultural history of Tsugaru	106
21. 地域の食と産業化-Cultural anthropology of local food and dietary practices【教養】 / Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	108
22. 現代日本学ー現代日本文化論【教養】 /Contemporary Japanese Culture	110
23. 異文化間コミュニケーション【教養】 /Intercultural communication	112
24. 国際学生フォーラム【人文】 /International Student Forum	114
25. 現代日本学ー日本の女性による文学ー【教養】 /Japanese women writers and their literature	115
26. 地域の多様性と活性化ー多文化共生時代における自己のキャリアを考える②ー【教養】 /Regional Diversity and Revitalization-Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society②ー	117
27. インターンシップ B-リンゴ栽培、商品開発、マーケティングー /Internship B-Apple cultivation, product development, marketing-	120
28. インターンシップ B-観光 PRー /Internship B-Tour Promotion-	122
29. インターンシップ B-シティ・プロモーションー /Internship B-City Promotion-	124
30. インターンシップ B-Web マーケティングー /Internship B-web marketing-	126
31. インターンシップ B-地域ツーリズムー /Internship B-Regional Tourism-	128
32. 自主研究 II A	130

2023年度 授業日程

前期（網かけ期日は授業日）								後期（網かけ期日は授業日）									
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
2023 年 4月							1	5日 入学式 ※1 6・7・10日 ガイダンス・履修相談 ※2 11日 前期授業開始日 (4月中旬～6月下旬 定期健康診断) 									

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

前期 75+5

	月	火	水	木	金
後期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

後期 75+5

※定期健康診断に伴い休講を措置した場合、7月・1月の補講期間に授業の実施を考慮するものとする。

※7月、1月の補講期間に関わらず、担当教員が学生と調整の上、適宜補講を実施するものとする。

※1: 弘前大学入学式及び学位記授与式の日程に関する申告せによる

※2: ガイダンス・履修相談は入学式後に実施する。

※3: 基本的に8月8日

※4: 文部科学省より実施方針[1月13日以降の最初の土・日曜日]

※5: 弘前大学個別学力検査日取り決め[日にち2月25日、26日]

※6: 弘前大学個別学力検査日取り決め[日にち3月12日]

※7: 弘前大学個別学力検査日取り決め[総合型選抜試験の実施日は総合文化祭実施日の一週間後の土・日曜日とする。]

2023年度前期 時間割 (2023.4～2023.9)

曜日	1・2時限(8:40～10:10)	3・4時限(10:20～11:50)	5・6時限(12:40～14:10)	7・8時限(14:20～15:50)	9・10時限(16:00～17:30)
月 Mon.	日本語中上級 (聴解) 【A5】 (山崎)	日本語基礎A (山崎)		インターンシップA-Webマーケティング-Internship A-web marketing (サワダ)	インターンシップA-リング栽培、商品開発、マーケティング-Internship A-Apple cultivation, product development, marketing (サワダ)
		日本語基礎A (長尾)	日本語中級聴解A (長尾)		
火 Tues.		日本語基礎A (田中)	日本語中上級 (読解A) 【A1】 (新川)	サークル活動に見る日本社会① (諏訪)	日本語初級 (総合A) (小山)
		日本語中級前半 (総合A) (長尾) 日本語中級後半 (総合A) (小笠原) 日本語中上級 (作文A) 【A3】 (新川) 日本語上級 (聴解作文A) 【B3】 (高橋)	芸術-津軽のアートとナラティブ-Art and Narrative of the Tsugaru region (サワダ)	地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修A-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A- (高橋)	日本語初級 (総合A) (小山)
水 Wed.		日本語基礎A (長尾)		日本美術史 (諏訪)	
		日本語中上級・上級日本事情プレゼン【A9】 (高橋)	青森エキスカンション-Cultural anthropology of Exhibition- (諏訪)	文学-日本の絵本の世界 -The world of Japanese picturebooks (サワダ)	日本語中級スピーチ・ディスカッションA (小山)
木 Thurs.		日本語初級漢字・読解・作文A (田中) 日本語中級後半 (総合A) (小笠原) 日本語中上級 (文法A) 【A7】 (新川) ■ 国際連携本部会議日		日本語中級前半 (総合A) (長尾)	
			文学-日本の戦争文学 -Japanese war literature (サワダ)	地域の多様性と活性化-多文化共生時代における自己のキャリアを考える①-Regional Diversity and Revitalization: Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society①- (高橋)	芸術-茶室の美学-The Aesthetics of the Japanese Tearoom (サワダ)
金 Fri.	日本語上級 (読解A) 【B1】 (山崎)	日本語基礎A (山崎)			言語学の世界-協定校の学生と交流しよう -The World of Linguistics - Let's Interact with the students from partner universities (小山)
		日本語初級 (総合A) (長尾)	インターンシップA-観光PR- -Internship A-Tour Promotion (サワダ)	インターンシップA-シティ・プロモーション-Internship A-City Promotion (サワダ)	インターンシップA-地域ツーリズム-Internship A-Regional Tourism (サワダ)
その他	【日本語・日本事情関連科目】自主研究ⅠA(諏訪)(時間応相談)				
その他	【日本語・日本事情関連科目以外別シート一覧参照】				
	①教育学科特講義(宮崎)(木3・6)				

教養教育科目

日本語・日本事情関連科目

■受講の注意点

- 水5・6「青森エキスカンション-Cultural anthropology of Exhibition-」(諏訪)は、5月下旬または6月にフィールドワーク(2回)があります。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。
- 火7・8「地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修A-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A-」(高橋)は、5月～6月の土曜日にワークショップ(1回)とフィールドワーク(1回)があります。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。
- インターンシップA-「Internship A-」(サワダ)は、5月～7月の土曜日に学外での実習があります。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。

津軽のアートとナラティブ-Art and Narrative of the Tsugaru region (サワダ)は6月24日(土)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。

2023年度後期 時間割 (2023. 10～2024. 3)

曜日	1・2時限(8:40～10:10)	3・4時限(10:20～11:50)	5・6時限(12:40～14:10)	7・8時限(14:20～15:50)	9・10時限(16:00～17:30)
月 Mon.	日本語中上級 (聴解B) 【A6】 (山崎)	日本語初級 (総合B) (山崎)	5・6時限(12:40～14:10) 日本語基礎B (小山) 日本語中級聴解B (長尾)	サークル活動に見る日本社会② (諏訪)	国際地域・社会・文化－トランスナショナルリズムの音楽－ (諏訪)
		日本語基礎B (田中) 日本語初級 (総合B) (小山) 日本語中級前半 (総合B) (長尾) 日本語中級後半 (総合B) (小笠原) 日本語中上級 (作文B) 【A4】 (新川) 日本語上級 (聴解作文B) 【B4】 (高橋)	日本語中上級 (聴解B) 【A2】 (新川) 現代日本文学・日本文学とアイデンティティの形成－ Modern Japanese literature and the formation of identity (サワダ)	インターンシップB-Webマーケティング-Internship B-web marketing (サワダ) 地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修B-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B- (高橋) 日本語中級スピーチ・ディスカッションB (小山)	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- development, marketing (サワダ) 現代日本文学－日本の表象文化 -Japanese Culture and Representation (諏訪)
火 Tues.		日本語基礎B (小山) 日本語中級後半 (総合B) (長尾) 日本語中級後半 (総合B) (小笠原) 日本語中上級 (作文B) 【A4】 (新川) 日本語上級 (聴解作文B) 【B4】 (高橋)	日本語中上級 (聴解B) 【A2】 (新川) 現代日本文学・日本文学とアイデンティティの形成－ Modern Japanese literature and the formation of identity (サワダ)	地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修B-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B- (高橋) 日本語中級スピーチ・ディスカッションB (小山)	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- development, marketing (サワダ) 現代日本文学－日本の表象文化 -Japanese Culture and Representation (諏訪)
水 Wed.		日本語基礎B (小山) 日本語中級後半 (総合B) (長尾) 日本語中級後半 (総合B) (小笠原) 日本語中上級 (作文B) 【A4】 (新川) 日本語上級 (聴解作文B) 【B4】 (高橋)	日本語中上級 (聴解B) 【A2】 (新川) 現代日本文学・日本文学とアイデンティティの形成－ Modern Japanese literature and the formation of identity (サワダ)	地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修B-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B- (高橋) 日本語中級スピーチ・ディスカッションB (小山)	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- development, marketing (サワダ) 現代日本文学－日本の表象文化 -Japanese Culture and Representation (諏訪)
木 Thurs.		日本語基礎B (小山) 日本語中級後半 (総合B) (長尾) 日本語中級後半 (総合B) (小笠原) 日本語中上級 (作文B) 【A4】 (新川) 日本語上級 (聴解作文B) 【B4】 (高橋)	日本語中上級 (聴解B) 【A2】 (新川) 現代日本文学・日本文学とアイデンティティの形成－ Modern Japanese literature and the formation of identity (サワダ)	地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修B-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B- (高橋) 日本語中級スピーチ・ディスカッションB (小山)	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- development, marketing (サワダ) 現代日本文学－日本の表象文化 -Japanese Culture and Representation (諏訪)
金 Fri.		日本語基礎B (小山) 日本語中級後半 (総合B) (長尾) 日本語中級後半 (総合B) (小笠原) 日本語中上級 (作文B) 【A4】 (新川) 日本語上級 (聴解作文B) 【B4】 (高橋)	日本語中上級 (聴解B) 【A2】 (新川) 現代日本文学・日本文学とアイデンティティの形成－ Modern Japanese literature and the formation of identity (サワダ)	地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修B-Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B- (高橋) 日本語中級スピーチ・ディスカッションB (小山)	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- development, marketing (サワダ) 現代日本文学－日本の表象文化 -Japanese Culture and Representation (諏訪)
その他	【日本語・日本事情関連科目】自主研究ⅡA(諏訪)(時間応相談) 【日本語・日本事情関連科目以外、別シート一覧参照】 ①地域・多様性と活性化－地域社会とジェンダー－(羽瀧)(金5・6) ②社会学(羽瀧)(火7・8) ③地域学ゼミナール(調整中)(康 他)(火3・4) ④コンピュータ演習(康)(火5・6) ⑤地域の社会・文化－オンライン演習会実習－(小田)(月3・4)				

■受講の注意点

- 水5・6「青森エクスカーション－Cultural anthropology of Exhibition－」(諏訪)は、10月または12月にフィールドワーク(2回)があります。受講する場合は、スケジュールの確保してから受講してください。
- 火7・8「地域プロジェクト演習－津軽地域文化国際共修A－Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A－」(高橋)は、11月～12月の土曜日にワークショップ(1回)、フィールドワーク(1回)があります。受講する場合は、スケジュールの確保してから受講してください。
- インターンシップA-Internship A-(サワダ)は、5月～7月の土曜日に学外での実習があります。受講する場合は、スケジュールを確保してください。
- 津軽の近代文化史－Survey of the modern cultural history of Tsugaru (サワダ)は11月11日(土)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。
- 月9・10「国際地域・社会・文化－トランスナショナルリズムの音楽－」(諏訪)は、受講相談した上で、受講してください。

教養教育科目・専門教育科目

日本語・日本事情関連科目

2023年度 弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目等一覧
The list of Japanese Language and Japanese culture classes for Hirosaki University short-term program in 2023

■前期 I semester

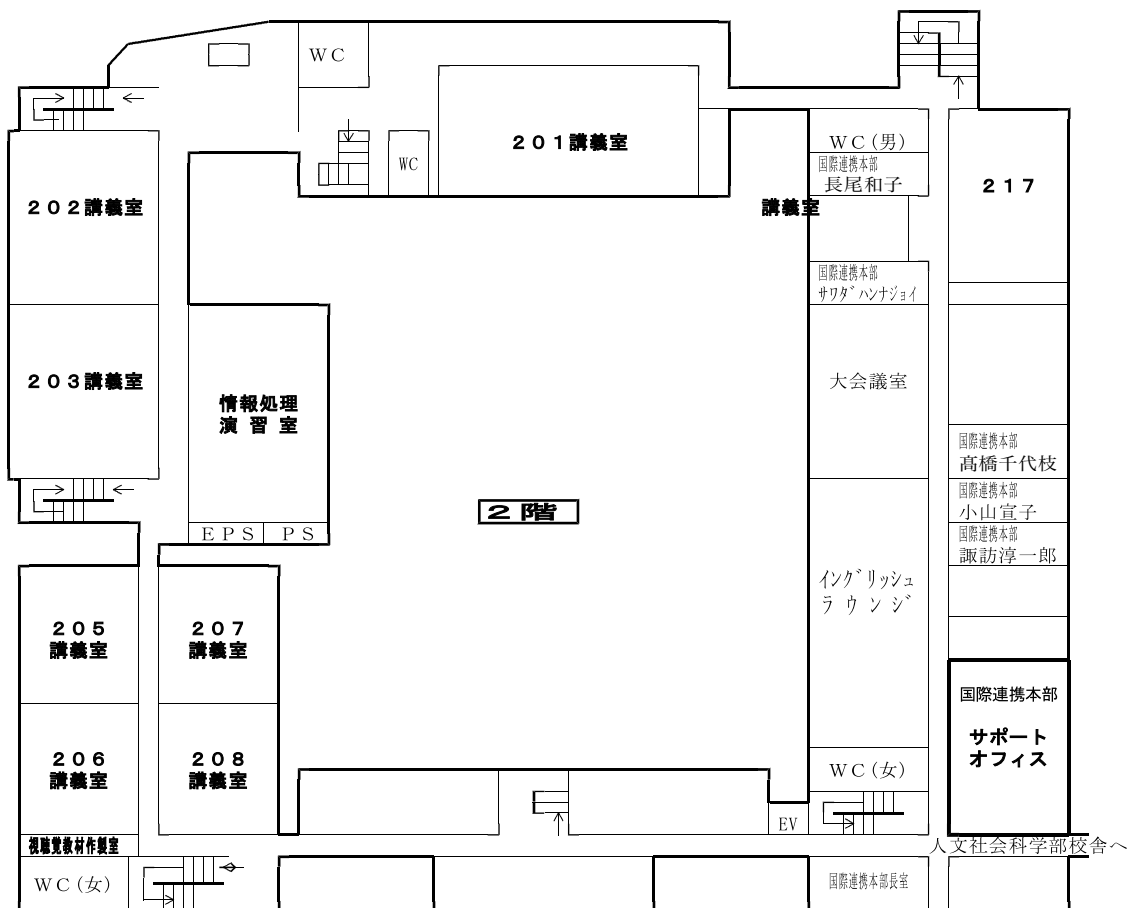
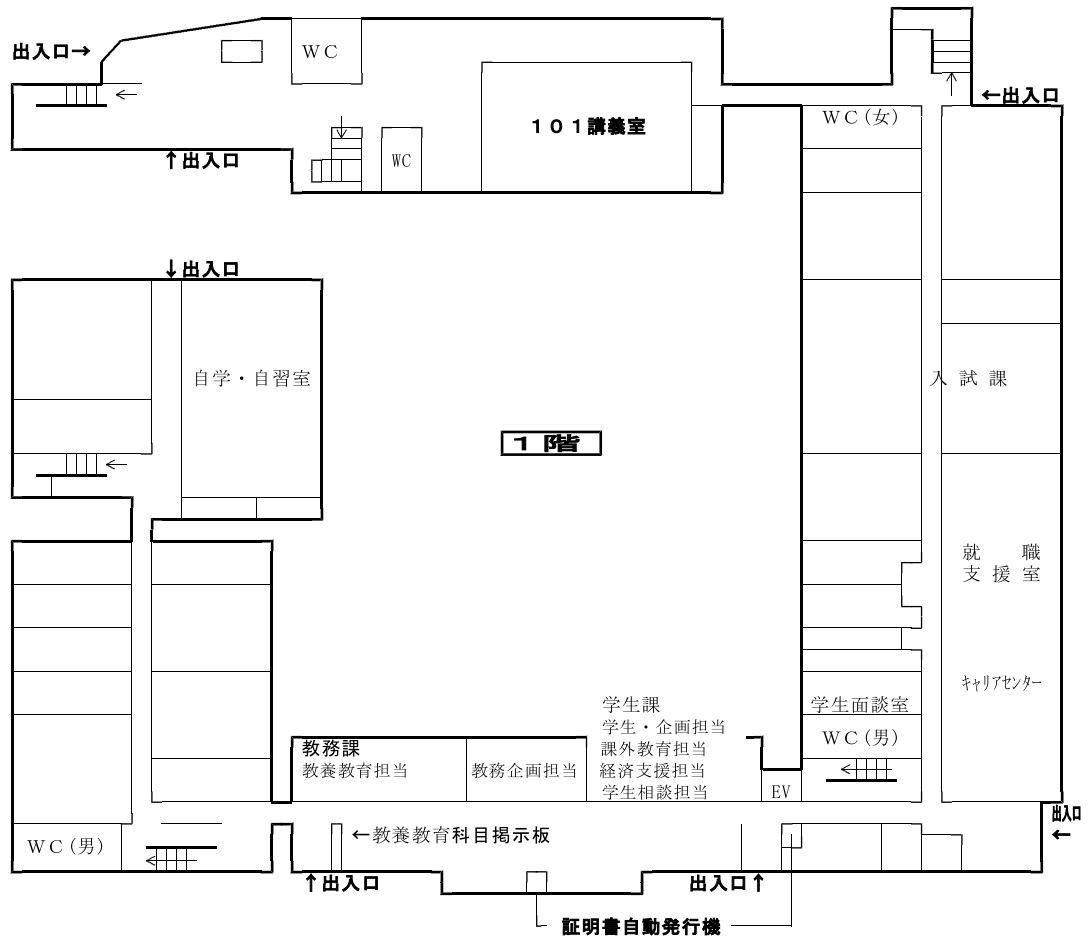
番号/No.	科目名 (日本語)/Subject(Japanese)	科目名 (英語)/Subject(English)	開講枠 /Date and time		担当教員/Lecturer	単位数 /Credits	備考/Notes
			曜日/The day of week	時間/Period			
1	日本語基礎A	Introductory Japanese A	月・火・水・金/Mon-Tue-Wed-Fri	月・火・水・金 9-4	長尾 (水)・田中 (火)・山崎 (月・金)/Nagao・Tanaka・Yamazaki	8	
2	日本語初級 (総合A)	Basic Japanese A	月・火・金/Mon-Tue-Fri	12:40 P.M. - 2:10 P.M. 月・9-10 10:10 A.M. - 10:40 A.M. 金・3-4 10:20 A.M. - 11:50 A.M.	小山 (月・水)・長尾 (金)/Oyama・Nagao	6	
3	日本語初級 (漢字・読解・作文A)	Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing A	木/Thu	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	田中/Tanaka	2	
4	日本語中級前半 (総合A)	Intermediate Japanese 1 A	火・木/Tue-Thu	火・3-4 木・7-8	長尾/Nagao	4	
5	日本語中級後半 (総合A)	Intermediate Japanese 2 A	火・木/Tue-Thu	3-4	小笠原/Ogasawara	4	
6	日本語中級 (読解A)	Intermediate Japanese (Listening A)	月/Mon	5-6	長尾/Nagao	2	
7	日本語中級 (スピーチ・ディスカッションA)	Intermediate Japanese (Speech & Discussion A)	水/Wed	9-10	小山/Oyama	2	
8	日本語中上級 (読解A)【A1】	Upper Intermediate Japanese (Reading A)【A1】	火/Tue	5-6	新川/Nikawa	2	
9	日本語中上級 (作文A)【A3】	Upper Intermediate Japanese(Writing A)【A3】	火/Tue	3-4	新川/Nikawa	2	
10	日本語中上級アカデミックジャーナリズム (読解A)【A5】	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)【A5】	月/Mon	1-2	山崎/Yamazaki	2	
11	日本語中上級 (文法A)【A7】	Upper Intermediate Japanese(Grammar A)【A7】	木/Thu	3-4	新川/Nikawa	2	
12	日本語中上級・上級 日本事情プレゼンテーション・セッション【A9】	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation A【A9】	水/Wed	3-4	高橋/Takahashi	2	
13	日本語上級 (読解A)【B1】	Advanced Japanese (Reading A) 【B1】	金/Fri	1-2	山崎/Yamazaki	2	
14	日本語上級アカデミックジャーナリズム (読解作文A)【B3】	Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)【B3】	火/Tue	3-4	高橋/Takahashi	2	
15	サークル活動に学ぶ日本社会 ①	Insights in Japanese society through circle activity ①	月/Mon	7-8	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
16	芸術・津軽のアートとクラタイプ【教養】	Art and narrative of the Tsugaru region	火/Tue	5-6	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
17	日本美術史	Japanese Art History	火/Tue	7-8	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語 English
18	地域プロジェクト演習・津軽地域文化国際共修A【教養】	Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A-	火/Tue	7-8	高橋/Takahashi	2	使用言語: 主に日本語 (補助的に英語等)/以程度がほしい Japanese mainly and supported by English (around N3 level)
19	青森エクスカージョン-Cultural anthropology of Exhibition-【教養】	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	水/Wed	5-6	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
20	文学-日本の絵本の世界【教養】	The world of Japanese picture books	水/Wed	7-8	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
21	文学-日本の戦争文学【教養】	Japanese war literature	木/Thu	5-6	サワダ/Sawada	2	使用言語: 主に日本語 (補助的に英語等)/以程度がほしい Taught in Japanese mainly and supported by English (N2)
22	地域の多様性と活性化-多文化共生時代における自己のキャリアを考える①-【教養】	Regional Diversity and Revitalization-Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society①-	木/Thu	7-8	高橋/Takahashi	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English
23	芸術-茶室の美学【教養】	The Aesthetics of the Japanese Tea Room	木/Thu	9-10	サワダ/Sawada	2	
24	言語学の世界-協定校の学生と交流しよう【教養】	The World of Linguistics - Let's interact with the students from partner universities	金/Fri	9-10	小山/Oyama	2	
25	インターンシップA-リノゴ観光、商品開発、マーケティング-	Internship A-Agile cultivation, product development, marketing-	月/Mon	9-10	サワダ/Sawada	2	
26	インターンシップA-観光PR-	Internship A-Tour Promotion-	金/Fri	5-6	サワダ/Sawada	2	
27	インターンシップA-シティ・プロモーション-	Internship A-City Promotion-	金/Fri	7-8	サワダ/Sawada	2	
28	インターンシップA-Webマーケティング-	Internship A-web marketing-	月/Mon	7-8	サワダ/Sawada	2	
29	インターンシップA-地域ツーリズム-	Internship A-Regional Tourism-	金/Fri	9-10	サワダ/Sawada	2	
30	自主研究 I A		相談の上、決定		諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語 Taught in Japanese & English

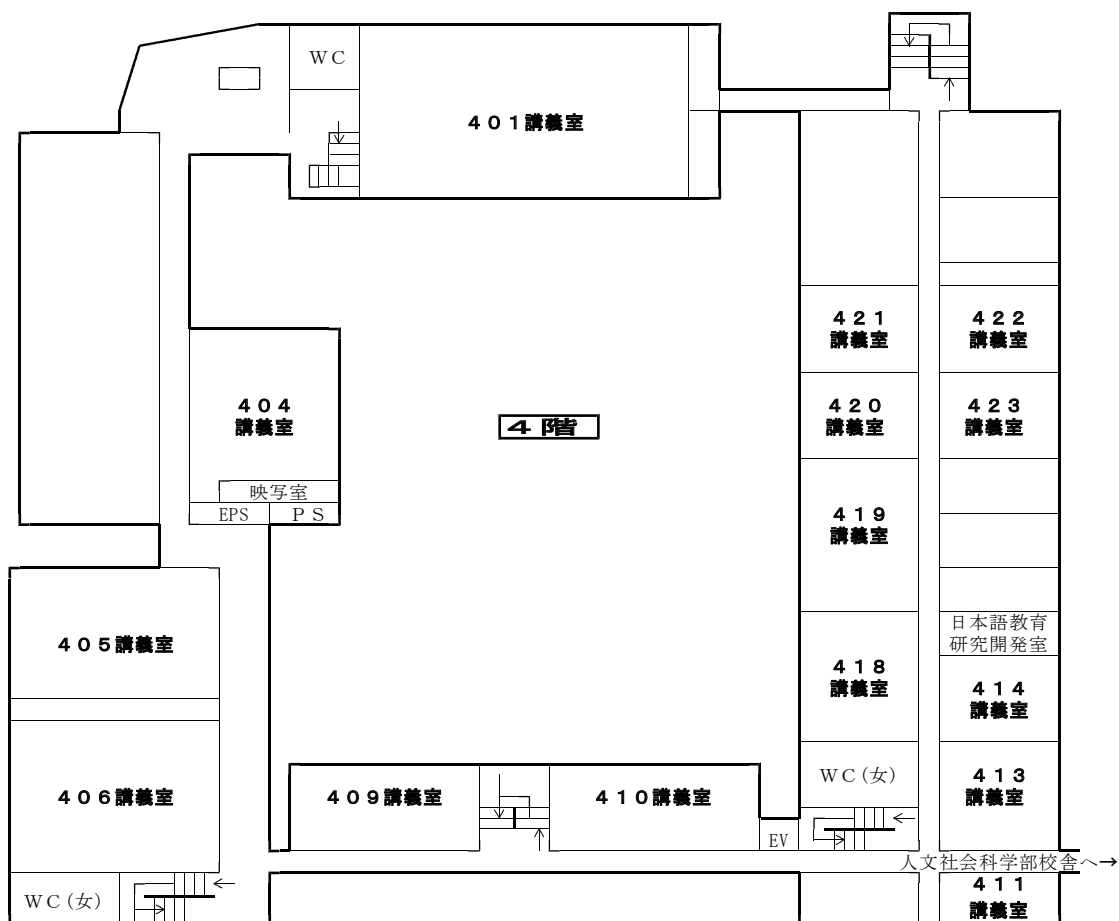
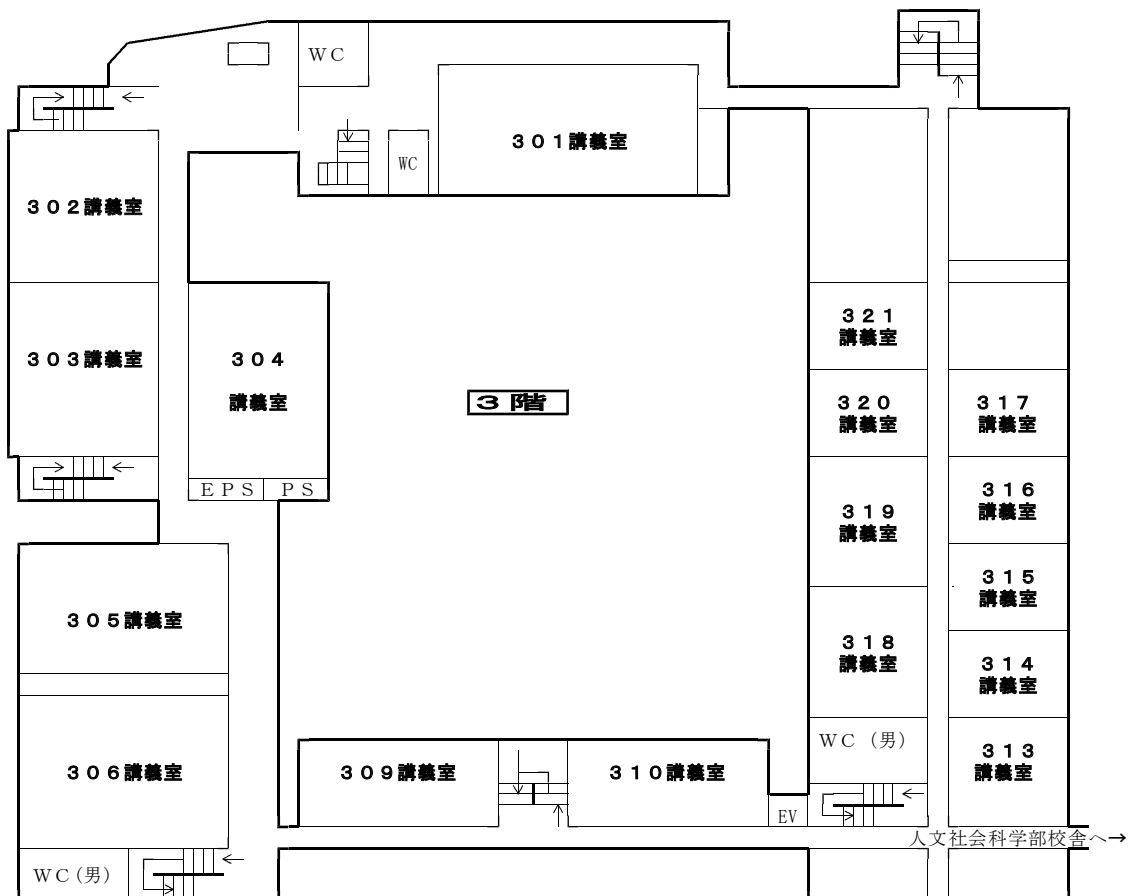
■後期 II semester

番号/No	科目名(日本語)/Subject(Japanese)	科目名(英語)/Subject(English)	開講枠 Date and time		曜日 /The day of week	時間 /Period		日本時間 /Japan time	担当教員 /Lecturer	単位数 /Credits	備考 /Notes
			月・火・水・金	Mon・Tue・Thu・Fri		月・5・6 火・水・金 3-4	3-4 火・水・金 7-8				
1	日本語基礎B	Introductory Japanese B	月・火・水・金	Mon・Tue・Thu・Fri	月・5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.	1020 A.M. - 1:150 A.M.	小山(月・水)・田中(火)・山崎(金) /Oyama・Tanaka・Yamazaki	8		
2	日本語初級(総合B)	Basic Japanese B	月・火・金	Mon・Tue・Fri	月・3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		小山(水・金)・山崎(月) /Oyama・Yamazaki	6		
3	日本語初級(漢字・読解・作文B)	Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing B	木 /Thu		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		田中 /Tanaka	2		
4	日本語中級前半(総合B)	Intermediate Japanese 1 B	火・木 /Tue・Thu		火・3・4 木・7・8	1020 A.M. - 1:150 A.M. 220 P.M. - 3:50 P.M.		長尾 /Nagao	4		
5	日本語中級後半(総合B)	Intermediate Japanese 2 B	火・木 /Tue・Thu		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		小笠原 /Ogasawara	4		
6	日本語中級(読解B)	Intermediate Japanese (Listening B)	月 /Mon		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		長尾 /Nagao	2		
7	日本語中級(スピーチ・ディスカッションB)	Intermediate Japanese (Speech & Discussion B)	火 /Tue		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		小山 /Oyama	2		
8	日本語中上級(読解B)【A2】	Upper Intermediate Japanese(Reading B)【A2】	火 /Tue		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		新川 /Nikawa	2		
9	日本語中上級(作文B)【A4】	Upper Intermediate Japanese(Writing B)【A4】	火 /Tue		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		新川 /Nikawa	2		
10	日本語中上級アカデミックジャンル・ニーズ(読解B)【A6】	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B)【A6】	月 /Mon		1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.		山崎 /Yamazaki	2		
11	日本語中上級(文法B)【A6】	Upper Intermediate Japanese(Grammar B)【A6】	木 /Thu		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		新川 /Nikawa	2		
12	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society Presentation-B【A10】	水 /Wed		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		高橋 /Takahashi	2		
13	日本語上級(読解B)【B2】	Advanced Japanese (Reading B)【B2】	金 /Fri		1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.		山崎 /Yamazaki	2		
14	日本語上級アカデミックジャンル・ニーズ(読解作文B)【B4】	Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B)【B4】	火 /Tue		3・4	1020 A.M. - 1:150 A.M.		高橋 /Takahashi	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
15	サークル活動に際する日本社会②	Insights in Japanese society through circle activity ②	月 /Mon		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		諏訪 /Suwa	2		
16	国際地域・社会・文化—トランスナショナルイズムの冒険—【教養】		月 /Mon		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		諏訪 /Suwa	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
17	現代日本学—日本文学とアイデンティティの形成【教養】	Modern Japanese literature and the formation of identity	火 /Tue		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		サワダ /Sawada	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
18	地域プロジェクト演習—津軽地域文化国際共修B【教養】	Regional Project Seminar—Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsuguri B—	火 /Tue		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		高橋 /Takahashi	2	使用言語: 主に日本語(補助的に英語等) /約程度～ Taught in Japanese mainly and supported by English(around N3 level)	
19	現代日本学—日本の表象文化【教養】	Japanese Culture and Representation	火 /Tue		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		諏訪 /Suwa	2	使用言語: 日本語 Japanese	
20	地域の社会・文化—津軽の近代文化史【教養】	Survey of the modern cultural history of Tsuguri	水 /Wed		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		サワダ /Sawada	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
21	地域の食と産業化—Cultural anthropology of local food and dietary practices【教養】	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	水 /Wed		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		諏訪 /Suwa	2	使用言語: 英語 English	
22	現代日本学—現代日本文化論【教養】	Contemporary Japanese Culture	水 /Wed		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		諏訪 /Suwa	2	使用言語: 日本語 Japanese	
23	異文化間コミュニケーション【教養】	Intercultural communication	水 /Tue		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		長尾 /Nagao	2		
24	国際学生フォーラム1人1文【教養】	International Student Forum	水 /Wed		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		サワダ /Sawada	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
25	現代日本学—日本の女性による文学—【教養】	Japanese women writers and their literature	木 /Thu		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		サワダ /Sawada	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	
26	地域の多様性と活性化—多文化共生時代における自己のキャリアを考える②—【教養】	Regional Diversity and Revitalization—Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society②—	木 /Thu		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		高橋 /Takahashi	2	使用言語: 主に日本語(補助的に英語等) /約程度～ Taught in Japanese mainly and supported by English(N2)	
27	インターンシップB—リンゴ栽培、商品開発、マーケティング—	Internship B—Apple cultivation, product development, marketing—	月 /Mon		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		サワダ /Sawada	2		
28	インターンシップB—観光PR—	Internship B—Tour Promotion—	金 /Fri		5・6	1240 P.M. - 2:10 P.M.		サワダ /Sawada	2		
29	インターンシップB—ネット・イノベーション—	Internship B—City Promotion—	金 /Fri		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		サワダ /Sawada	2		
30	インターンシップB—Webマーケティング—	Internship B—web marketing—	月 /Mon		7・8	220 P.M. - 3:50 P.M.		サワダ /Sawada	2		
31	インターンシップB—地域ツーリズム—	Internship B—Regional Tourism—	金 /Fri		9・10	400 P.M. - 5:30 P.M.		サワダ /Sawada	2		
32	自主研究 II A		相談の上、決定					諏訪 /Suwa	2	使用言語: 英語 /日本語 Taught in Japanese & English	

アプリケーションツールは、マイクロソフトチームズを使用します。 It will be used Microsoft Teams as app. 必ず1科目以上選択し、受講します。 You need to take more than 7 classes from above.

総合教育棟 校舎配置図





○弘前大学短期留学プログラムの日本語・日本事情関連科目に関する細則

(平成 29 年 2 月 23 日細則第 34 号)

改正 平成 30 年 3 月 22 日細則第 17 号 令和元年 11 月 28 日細則第 39 号

令和 2 年 2 月 18 日細則第 8 号 令和 4 年 1 月 21 日細則第 2 号

令和 5 年 3 月 8 日細則第 7 号

(趣旨)

第 1 条 この細則は、弘前大学短期留学プログラム規程（平成 16 年規程第 10 号。以下「規程」という。）第 8 条第 3 項の規定に基づき、短期留学プログラムにおける日本語・日本事情関連科目の履修方法等に関し必要な事項を定める。

(日本語・日本事情関連科目)

第 2 条 日本語・日本事情関連科目の科目名及び単位数は、別表のとおりとする。

2 日本語・日本事情関連科目の開講時期、時間数、担当教員名等は、学年又は学期の初めに公示する。

第 3 条 削除

(履修等)

第 4 条 規程第 10 条の規定により履修手続を行い履修登録された日本語・日本事情科目は、時間割の変更による場合を除き、指定された期日以後において変更することができないものとする。ただし、当該履修登録は、指定された期日以後において別に定める期間に限り、所定の手続きを行うことにより取り消すことができる。

2 日本語・日本事情科目は、同一の時間に開講される複数の科目（規程第 8 条に掲げる授業科目を含む。）について、重複して履修登録することができない。

3 所定の単位を修得した日本語・日本事情科目は、再履修することができない。

(評価)

第 5 条 履修した日本語・日本事情科目の評価は、当該科目の担当教員が学習の状況、試験の成績等によって行う。

(試験)

第 6 条 試験は、授業が終了した学期末に実施する。ただし、科目によっては、その他適当な時期に行うことがある。

2 試験は、当該科目に係る開講時間の総時間数に対し、出席時間数が 3 分の 2 に達しない者にあつては、原則として受験資格を与えないものとする。

3 やむを得ない事情により試験を欠席した者にあつては、国際連携本部運営会議において審議の上、追試験を実施することがある。

4 追試験を受けようとする者は、当該科目の試験実施日を起算とする 7 日以内に追試験願いに、当該欠席の理由を証明するものを添付の上、国際連携本部長に提出しなければならない。

- 5 追試験は、当該追試験の実施に係る科目の第1項に規定する試験実施日を起算とする30日以内において期日を指定して行う。

(修得単位の取消し)

第7条 修得した単位は、取り消すことができないものとする。

(その他)

第8条 この細則に定めるもののほか、短期留学プログラムにおける日本語・日本事情関連科目の履修方法等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月22日細則第17号)

- 1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行日の前日において現に在学する者についての別表2の適用については、なお、従前の例による。

附 則(令和元年11月28日細則第39号)

この細則は、令和元年11月28日から施行する。

附 則(令和2年2月18日細則第8号)

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和4年1月21日細則第2号)

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月8日細則第7号)

この細則は、令和5年4月1日から施行する。

別表

[別紙参照]

別表（第2条関係）

分野	前期		後期	
	科目名	単位数	科目名	単位数
日本語	日本語基礎A	8単位	日本語基礎B	8単位
	日本語初級（総合A）	6単位	日本語初級（総合B）	6単位
	日本語初級（漢字・読解・作文A）	2単位	日本語初級（漢字・読解・作文B）	2単位
	日本語中級前半（総合A）	4単位	日本語中級前半（総合B）	4単位
	日本語中級後半（総合A）	4単位	日本語中級後半（総合B）	4単位
	日本語中級（聴解A）	2単位	日本語中級（聴解B）	2単位
	日本語中級（スピーチ・ディスカッションA）	2単位	日本語中級（スピーチ・ディスカッションB）	2単位
	日本語中上級（読解A）	2単位	日本語中上級（読解B）	2単位
	日本語中上級（作文A）	2単位	日本語中上級（作文B）	2単位
	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解A）	2単位	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解B）	2単位
	日本語中上級（文法A）	2単位	日本語中上級（文法B）	2単位
	中上級・上級日本事情プレゼンテーションA	2単位	中上級・上級日本事情プレゼンテーションB	2単位
	日本語上級（読解A）	2単位	日本語上級（読解B）	2単位
	日本語上級アカデミックジャパニーズ（聴解作文A）	2単位	日本語上級アカデミックジャパニーズ（聴解作文B）	2単位
キャリア	インターンシップA	2単位	インターンシップB	2単位
	インターンシップ（発展A）	3単位	インターンシップ（発展B）	3単位
特別科目	特設講義A	2単位	特設講義B	2単位
課題研究	自主研究ⅠA	2単位	自主研究ⅡA	2単位
	自主研究ⅠB	2単位	自主研究ⅡB	2単位
	自主研究ⅠC	2単位	自主研究ⅡC	2単位

○弘前大学短期留学プログラム規程

(平成 16 年 4 月 1 日制定規程第 10 号)

改正

平成 21 年 2 月 9 日

平成 25 年 4 月 19 日規程第 58 号 平成 28 年 9 月 28 日規程第 221 号

平成 29 年 2 月 22 日規程第 6 号 令和元年 11 月 28 日規程第 151 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、弘前大学学則(平成 16 年規則第 2 号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、弘前大学(以下「本学」という。)と外国の大学との協定に基づき、外国の大学に在学する学生を短期間受入れる弘前大学短期留学プログラム(以下「短期留学プログラム」という。)の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第 2 条 短期留学プログラムにより受入れすることのできる者は、大学間交流協定を締結している外国の大学(以下「協定校」という。)の学部在籍し、原則として 2 年次を修了している外国籍の学生(以下「短期留学生」という。)とする。

(身分)

第 3 条 短期留学生は、当該短期留学生の希望する専攻分野の教育研究を行う学部所属する。

2 短期留学生は、学則第 49 条に規定する特別聴講学生とする。

(期間)

第 4 条 短期留学生の受入れ期間は、6 月以上 1 年以内とする。

(受入れ人数)

第 5 条 短期留学生の受入れ数は、20 名程度とする。

(入学時期)

第 6 条 短期留学生の入学時期は、原則として 4 月又は 10 月とする。

(学期)

第 7 条 短期留学生の学期は、次の 2 学期とする。

春学期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

秋学期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(カリキュラム及び履修方法等)

第 8 条 短期留学プログラムのカリキュラムは、学則第 12 条に規定する授業科目及び国際連携本部が開設する日本語・日本事情の分野に係る各科目（以下「日本語・日本事情関連科目」という。）により構成する。

2 前項に掲げる学則第 12 条に規定する授業科目の履修方法等は、当該授業科目に係る規程の定めるところによる。この場合において、履修に当たっては、事前に当該授業科目を担当する教員の承認を得るものとする。

3 日本語・日本事情関連科目の履修方法等は、別に定める。

(履修単位)

第9条 短期留学生の履修単位は、1学期につき14単位以上、年間48単位までとする。

(履修手続)

第10条 短期留学生は、日本語・日本事情関連科目について、学年又は学期において指定された期日までに、所定の履修科目届を国際連携本部長に提出しなければならない。

(実施)

第11条 短期留学プログラムは、弘前大学国際連携本部(以下「本部」という。)が実施する。

2 短期留学プログラムを円滑に運営するために必要な事項については、本部が別に定める。

(事務)

第12条 短期留学プログラムの実施に関する事務は、事務局付調整役(国際連携本部)が処理する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年2月9日)

この規程は、平成21年2月9日から施行する。

附 則(平成25年4月19日規程第58号)

この規程は、平成25年4月19日から施行し、改正後の規程は、平成25年4月1日から適用する。

附 則(平成28年9月28日規程第221号)

この規程は、平成28年10月1日から施行する。

附 則(平成29年2月22日規程第6号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和元年11月28日規程第151号)

この規程は、令和元年11月28日から施行する。

前期

(I Semester)

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語基礎A Introductory Japanese A
副題 subtitle	
対象学生	International students with NO or very limited background of Japanese
単位 credit	8単位 (8 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	月 3・4 火 3・4 水 3・4 金 3・4
授業形式 class format	Lecture, practice and activities
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration) 山崎 達郎 (非常勤) YAMAZAKI, Tatsuro 田中 美由紀 (非常勤) TANAKA, Miyuki
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese (equivalent to JLPT N5 level) 2) To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A1 and A2-1 of JF standard) 3) To be proficient on reading and writing simple passage with <i>Hiragana</i> , <i>Katakana</i> and some basic <i>Kanji</i> .
授業の概要 course description	This course covers the first half of elementary Japanese A1 of JF Standard. Emphasis both on structure building and on proficiency of one's language use.
授業の内容予定 schedule of the class	Reviewing <i>Hiragana</i> and <i>Katakana</i> on the first four weeks. Also, from the week 1 we begin elementary level of speaking, listening, reading and writing as well as learning basic sentence patterns. Introduction to writing systems and some <i>Kanji</i> and some aspects of culture related to the topic of the lessons. Week 1-2. <i>Hiragana</i> , Japanese writing system and pronunciation. Greetings, Introduce ourselves, Ask and tell people names, majors at school, time Week 3-4. <i>Katakana</i> , Ask and answer how much things cost, Do shopping, Order food in a restaurant Week 5. General knowledge about <i>Kanji</i> . Talk about daily activities, Extend accept and refuse invitations Week 6. Ask and describe where things/people are, Talk about things that happen in the past Week 7. Talk about the travel, Make offers and invitation, Likes and dislikes Week 8. Make requests, Ask for and give permissions, Rules and regulations, Give reasons Midterm Exam Week 9. Talk about family and friends, Describe how people are dressed Week 10. Talk casually, Express thoughts and opinions Week 11. Talk casually in the past, Report someone's speech Week 12. Vacation plans. Compare things and people. Talk about future plans Week 13. Express what we want to do. Talk about our experiences and hometown Week 14. Give and ask for an explanation. Describe symptoms of illness Week 15. Review Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Assessment by student's performance in the classroom, quizzes, number of assignments, and mid-term and final exams.

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Spend at least TWO hours for the review, assignments, and the preparation of the following class contents everyday. Please check before the class Genki Videos and Genki Sentence Patterns. Try to use Japanese in your daily life what you learned in the class. Be part of the Hirosaki Community with your proficiency of the language.
教材・教科書 text	Genki I Third Edition. The Japan Times Publishing Genki I Workbook Third Edition. The Japan Times Publishing
参考文献 references	Self-Study Kana Workbook. AOTS. Kanji Look and Learn. The Japan Times Genki Videos https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/dialoguevideo.html Video Collection of Genki Sentence Patterns https://genki.japantimes.co.jp/site/video/en/ Video Clips for Culture notes https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/culturenote/ Applications for a smartphone: GENKI Vocab for 3rd Ed. GENKI Kanji for 3rd Ed. GENKI Conjugation Cards
留意点・予備知識 remarks	We recommend using the application to review and practice vocabulary, <i>Kanji</i> and Conjugation. Your initiative of learning will help you learn autonomously. Attend the class punctually and do not skip any single class to gain solid knowledge of the language.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Please ask during the class to the teacher or have an appointment by mail or Teams.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	We emphasize first the study of Kana and vocabulary. The sufficient knowledge of Kana supports the next step of Basic Japanese Language learning. Combination of lectures, practice and activities.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級(総合A) Basic Japanese B
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University (equivalent to N5 of JLPT)
単位 credit	6単位 (6 credits)
学期 semester	前 期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	月9・10 火9・10 金3・4
授業形式 class format	
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 長尾和子 (国際連携本部) Kazuko, NAGAO (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	One can listen and comprehend conversations encountered in daily life and generally follow their contents, provided that they are spoken slowly. One can use expressions appropriate to the persons and situation to carry out objectives in a variety of everyday situations.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics for each lesson in the textbook are as follows: The students will start working through the textbook immediately after the orientation. Exams will be held periodically after Lessons 16, 19, and 22. Lesson 13: Looking for a Part-time Job Lesson 14: Valentine's Day Lesson 15: A Trip to Nagano Lesson 16: Lost and Found Lesson 17: Grumble and Gossip Lesson 18: John's Part-time Job Lesson 19: Meeting the Boss Lesson 20: Mary's Shopping Lesson 21: Burglar Lesson 22: Education in Japan One lesson is taught in four sessions. (Each session is a 90-minute class period.) Session 1-3: •Review of conversations and vocabulary usage •Grammar drills •Practice of conversational expressions and speaking •Optional: role-plays, dictation, and repetition exercises Session 4: •Review of content covered in sessions 1-3 •Listening comprehension exercises •Workbook activities •Review of new vocabulary for the next lesson
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	Three regular examinations - 40%. Homework -----40%. Quizzes -----20%.

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.
教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times,2020(Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook]Third Edition Japan Times,2020(Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The second half of the beginner level can be tough, and some students might feel overwhelmed. But by attending classes and reviewing the lessons, you'll build a solid foundation in Japanese that'll make it easier to move on to the next level. Plus, the textbooks have been used in universities worldwide, especially in English-speaking countries, for many years. They're well-suited to the needs of university students and come with plenty of supplementary materials to help you learn.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	No office hour will be set for this course. Write questions to instructors by email or Teams chat whenever you need.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams or Flip.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級 (漢字・読解・作文B) Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing B
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University (equivalent to N5 of JLPT)
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	前 期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木 3・4
授業形式 class format	
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	• One can read and understand passages on familiar daily topics written in basic vocabulary and Kanji. • One can write simple emails, introduce your favourite places, translate lyrics, etc.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows 1st and 2nd week L1 日本のおもしろい経験(漢字: 物鳥料理特安飯肉悪体同着空港昼海) 3rd and 4th week L2 悩みの相談(漢字: 彼代留族親切英店去急乗当音楽医者) 5th and 6th week L3 私が好きな所(漢字: 死意味注夏魚寺広足転借走場建地通) 7th and 8th week L4 漫画「ドラえもん」(漢字: 供世界全部始週考開屋方運動教室以) 9th and 10th week L5 オノ・ヨーコ (漢字: 野習主歳集発表品写真字活結婚歩) 11th and 12th week L6 大学生生活 (漢字: 目的洋服堂力授業試験貸図館終宿題) 13th and 14th week L7 手紙とメール (漢字: 春秋冬花様不姉兄漢卒工研究質問多) 15th week L8 猫の皿 (漢字: 皿声茶止枚両無払心笑絶対痛最続) 16th week Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examinations - 40%. Homework -----30%. Quizzes ----30%.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The second half of the beginner level can be tough, and some students might feel overwhelmed. But by attending classes and reviewing the lessons, you'll build a solid foundation in Japanese that'll make it easier to move on to the next level. Plus, the textbooks have been used in universities worldwide, especially in English-speaking countries, for many years. They're well-suited to the needs of university students and come with plenty of supplementary materials to help you learn.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	No office hour will be set for this course. If you have any questions, ask them in class.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams or Flip.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級前半(総合A) Intermediate Japanese 1 A
副題 subtitle	一般日本語中級前半
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位 (4 Credits)
学期 semester	前期 (1 semester)
曜日 day 時限 period	火 3・4 木 7・8
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々なタスクを行うのに必要な言語知識（語彙、文法・表現、漢字のことばなど）と言語スキル（メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など）を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	第1週/第2週 ガイダンス 習い事は役に立つ？（習い事の経験について自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語ることができる） 第3週/第4週 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く？（日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる） 第5週/第6週 昔話の世界を知ろう（昔話の流れを理解し、新しい結末を書く） 第7週/第8週 旅の計画を立ててみよう（具体的な計画を立てるために、クラスメートと話し合うことができる） 中間テスト 第9週/第10週 違いについて考えてみよう（自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりある文章を書くことができる） 第11週/第12週 音楽の力（ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点が理解できる） 第13週/第14週 日本から世界へ（点字ブロックの誕生や発展について事実に基づいた説明文を読み、主題を理解することができる） 第15週/第16週 プロジェクト 本コースのテーマの中から1つ選び、日本語でインタビューをする、その結果をまとめて発表し、レポートを書く。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、漢字テスト20% プロジェクト発表20% プロジェクトレポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著（2022）『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』スリーエーネットワーク

参考文献 references	仲山淳子（2021）『日本語文法ブラッシュアップトレーニング』アルク
留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへと なっていきます。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分た ちで考えた計画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使っ て行うようにしましょう。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプット メインタスクをする準備）⇄メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やりと り」）⇄文型・表現⇄ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇄漢字の言葉⇄質問文を 使ったやりとり⇄振り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があり ます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	中級後半（総合A） Intermediate Japanese 2 A
副題 subtitle	
対象学生	昨年度後期に「中級実習B」を受講した学生、または日本語能力試験のN3かCERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credit	4単位（4 credits）
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火 3・4 木 3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字と語彙「ごい」・文型と表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。主体的に学んで行けるよう、情報収集能力と問題解決能力を身につける。
授業の概要 course description	1. プレタスクで自分の考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙、文型・表現の小テストを行い、定着を図る〔はかる〕。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：オリエンテーション 第2回：第1課 なぜその言葉？①プレタスク 第3回：第1課 なぜその言葉？②メインタスク 第4回：第1課 なぜその言葉？③ポストタスク 第5回：第1課 なぜその言葉？④復習 第6回：第2課 ユニバーサルデザインとは？①プレタスク 第7回：第2課 ユニバーサルデザインとは？②メインタスク 第8回：第2課 ユニバーサルデザインとは？③ポストタスク 第9回：第2課 ユニバーサルデザインとは？④復習 第10回：第3課 公共施設を利用している？①プレタスク 第11回：第3課 公共施設を利用している？②メインタスク 第12回：第3課 公共施設を利用している？③ポストタスク 第13回：第3課 公共施設を利用している？④復習 第14回：第1課～第3課 復習 第15回：第4課 違う自分になりたい？①プレタスク 第16回：第4課 違う自分になりたい？②メインタスク 第17回：第4課 違う自分になりたい？③ポストタスク 第18回：第4課 違う自分になりたい？④復習 第19回：第5課 災害に対して準備している？①プレタスク 第20回：第5課 災害に対して準備している？②メインタスク 第21回：第5課 災害に対して準備している？③ポストタスク 第22回：第5課 災害に対して準備している？④復習 第23回：第6課 地球の環境、大丈夫？①プレタスク 第24回：第6課 地球の環境、大丈夫？②メインタスク 第25回：第6課 地球の環境、大丈夫？③ポストタスク 第26回：第6課 地球の環境、大丈夫？④復習 第27回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？①プレタスク 第28回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？②メインタスク 第29回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？③ポストタスク 第30回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？④復習 第31回：第4課～第7課 復習、1学期のまとめ
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	漢字・語彙「ごい」の小テスト 30% 作文：30% その他の活動（文型・表現学習、発表など）：40%

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所〔かしょ〕を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。
教材・教科書 textbook	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程（2022） 『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐〔おそ〕れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 office hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設〔もう〕けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級(聴解A) Intermediate Japanese (Listening A)
副題 subtitle	一般日本語中級 (前半・後半)
対象学生	初級(教室で200時間から250時間[1時間は60分])を勉強し、内容を十分習得した学生。 日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、B1の学生。
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	月 5・6
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員(所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・身近な話題についての説明、スピーチが分かる。 ・まとめた内容を聞いて、流れを意識することができる。 ・わからないことばがあっても、全体から類推して、情報が補える。
授業の概要 course description	大学での講義や研究発表を聞く力をつけるための練習をします。 聞く力だけではなく、聞いたことをまとめる力、要約を書いたりする勉強もできます。 日本人大学生の話し方を聞き、その特徴を理解します。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第1課「富士山」 第2回 第2課「信号の話」 第3回 第3課「隠れキリシタン」 第4回 第4課「水族館」 第5回 第5課「ゴリラの食事」 第6回 第6課「東京の温泉」 第7回 第8課「札幌のお祭り」 第8回 中間テスト 第9回 第9課「津軽三味線」 第10回 第10課「メールの書き方」 第11回 第11課「アクセント」 第12回 第12課「からくり人形」 第13回 第13課「四つ葉のクローバー」 第14回 第14課「長寿の理由」 第15回 第15課「長崎の猫」 第16回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 10%、課題提出 30%、中間テスト 30% 期末テスト 30%
準備学習(予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習 各課のテーマについてインターネットで調べておく 復習 問題Dの要約をTeamsに提出する
教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[中級]』東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	鎌田修監修 山森理恵・金庭久美子・奥野由紀子(2021)『リアルな会話で学ぶにほんご 初中級リスニング』The Japan Times.

留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動（グループディスカッション）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中級スピーチ・ディスカッションA Intermediate Japanese (Speech & Discussion A)
副題 subtitle	
対象学生	クラス分けテストで、中級に分けられた学生。または、日本語能力試験でN3合格レベルの学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水9・10
授業形式 class format	講義と活動
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の大学で日本人と同じ授業を受けたい時、授業中のディスカッション、グループの発表、課題として学生などへのインタビューなどが日本語でできることは大事になってきました。このような言語活動が日本語でできるように、必要なことを学びます。3分前後のスピーチ、5分前後の簡単なディスカッションができるようになります。
授業の概要 course description	授業の進め方 1 教科書のビデオを見て、課で勉強する言語活動を具体的に理解します。 2 テーマについて自分が話したいことを考えてメモします。 3 教科書で、言語表現や構成を学習・確認します。 4 一人ずつスクリプトを作り、ウェブサービスでイントネーションやアクセントも調べます。 5 パフォーマンスを繰り返し、自己評価やグループ内評価を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	1回目 授業の説明 2回目 UNIT01 自己紹介 自己評価チェック、テーマを決めよう 3回目 UNIT01 自己紹介 流れと表現の確認 4回目 UNIT01 自己紹介 練習しよう、発表会 5回目 UNIT01 自己紹介 ビデオ撮影、自己評価 6回目～9回目 スピーチ1 10回目～15回目 ディスカッション1
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業中の小テスト（流れと表現） 20% 課題提出状況（Teamsでスクリプトを読み上げる、イントネーションを調べる） 30% 毎回のパフォーマンス 20% 期末試験 30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業の前に教科書に目を通してから来てください。
教材・教科書 text	『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社 ¥1500+税
参考文献 references	VIDEO 中級 - Intermediate -:日本語で話そう！-中級日本語口頭表現教材- ※教材のビデオがオンラインで見られます。 https://e-edu.muc.meiji.jp/contents/jpdiscuss/contents/index2.html 韻律読み上げチュータスズキクン ※文章のイントネーションが調べられます。 https://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/phrasing
留意点・予備知識 remarks	最終的なパフォーマンスはビデオで撮影します。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールやTeamsのチャットで聞いてください。

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義と活動
その他 other	前期と後期は、流れはおなじですが、トピックは違います。 シラバスの内容には変更があり得ます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（読解A）【A1】 Upper Intermediate Japanese (Reading A) 【A1】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火5・6
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	日常生活や大学生活に必要な日本語の文章を正確に読んで理解するための語彙力と読解技術を身に付ける。
授業の概要 course description	読解ストラテジーに焦点をあて、文章の中のキーワードや主題、文章構造、定型表現を見つけ出すことで、早く正確に読解する練習をする。テキスト問題に加え、語彙リスト作成、タイトルつけなどの活動も行う。また様々な生教材から、教師や学習者が選択したものを読解する。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2～3回 情報取得 第4～5回 キーワード 第6～7回 接続語・指示語 第8回 数字 第9回 比喩表現 第10～11回 読解実践練習 第12回～14回 応用読解 第15回 まとめ 第16回 修了テスト
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 40% 課題 40% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	全体課題や担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『読むトレーニング応用編 日本留学試験対応』三上京子・山形美保子・他 著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（作文A）【A3】 Upper Intermediate Japanese (Writing A) 【A3】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子（非常勤）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級の語彙・表現を習得し、より正確で適切な日本語作文を作成する力を向上させる。
授業の概要 course description	前半に作文力・語彙力を高めるための技術を習得するための活動をし、それと並行して、自己PRのための作文完成に向けて、毎回少しずつ作文を積み上げていく。最後にそれぞれの自己PR文の発表を行う。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 読点の打ち方 第3回 書き言葉 第4回 和語と漢語 第5回 名詞化 第6回 ジャンルによる使い分け 第7回 長い文 第8回 上位概念 第9回 簡潔な表現など 第10回 含意・解釈 第11回 自己PR文1 第12回 自己PR文2 第13回 自己PR文3 第14回 自己PR文4 第15回 フィードバック 第16回 作文発表と講評
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度 40% 課題 30% 最終作文30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	『上級日本語学習者対象 アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』鎌田美千子 仁科浩美著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解A）【A5】 Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A) 【A5】
副題 subtitle	
対象学生	プレースメントテストで、中上級（聴解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	月1・2
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解する。 聞いた講義について、ノートのとる方を学ぶ。 理解した内容を、説明する方法を学ぶ。 理解した内容を、短い文章にまとめる方法を学ぶ。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる（話す、書く）練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、第1課「掃除」（1） 第2回：第1課「掃除」（2） 第3回：第2課「本屋」（1） 第4回：第2課「本屋」（2） 第5回：第3課「新幹線のおでこ」（1） 第6回：第3課「新幹線のおでこ」（2） 第7回：第4課「体験プレゼント」（1） 第8回：第4課「体験プレゼント」（2） 第9回：中間テスト、第5課「そば屋ののれん」（1） 第10回：第5課「そば屋ののれん」（2） 第11回：第6課「犬の肥満」（1） 第12回：第6課「犬の肥満」（2） 第13回：第7課「卵かけご飯」（1） 第14回：第7課「卵かけご飯」（2）、第8課「女性専用車両」（1） 第15回：第8課「女性専用車両」（2） 第16回：期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：30% 期末テスト：30% クイズ：20% 課題、授業時のパフォーマンス：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題：聞き取った内容について、ノートを作成すること。 聞き取った内容を、決められた字数で文章にまとめること。
教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。

留意点・予備知識 remarks	特になし
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	授業方法：授業は以下のように進める予定です。 (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとおり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（文法A）【A7】 Upper Intermediate Japanese (Grammar A) 【A7】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	木 3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切で正確な日本語の語彙と表現が使えるようになることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語の文法を総合的に理解するために、日本語文の基本的構造を学び、各文法項目を適切に使用できる力をつけるための活動を行い、各回の課題によって理解を深めていく。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 基本文型 第3回 格助詞 第4回 「はーが」「主題」 第5～6回 複合助詞 第7回 接辞 第8回 呼応 第9回 指示語 第10～11回 ヴォイス 第12回 接続詞 第13～14回 複文の表現 第15回 まとめ 第16回 テスト 進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度40%、各回の課題達成度40%、修了テスト20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	課題が出されたら、期限までに提出すること。課題・テストは解説を聞いた後に、訂正して再提出。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料は授業時にコピーして配布する。
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20、日本語文法ハンドブック、考えて解いて理解する日本語教育の文法、他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業・演習形式
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語A9－中上級・上級日本事情プレゼンテーションA－
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本についての理解を深める 2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に付け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる 3. 自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表し、相手の意見を聞いて内容をまとめ、論理的に反論を述べたり、終着点を協働で見つけ出すことができる
授業の概要 course description	日本文化や生活にかかわる文章や資料を見て、自らテーマを見つけ出しそれについて調べ、スライドを用いて発表する。また、テーマによって授業中、ディスカッションやディベートをする場を設ける。その際、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いたりする態度や、冷静に分析する姿勢、異なる意見に耳を傾け互いに協力して問題解決の方法を考え出す方法を身につける。
授業の内容予定 schedule of the class	第1, 2回 オリエンテーション、Unit6 「知っておきたい日本の歴史」日本の歴史について自ら調べる・知る・まとめる・発表する、日本の大学生が持っている歴史観などを知る・ディスカッションして意見を述べる 第3, 4回 Unit8 「現代文化とポップカルチャー」自分の好きな日本のポップカルチャーについてわかりやすく説明する・紹介する・語る 第5, 6回Unit13 「産業構造と経済」日本の産業や経済について知る・調べる・まとめる、自国と比較して問題点を見つける・解決策を考える 第7, 8回Unit12 「教育と子供たち」日本の教育制度や子供を取り巻く社会問題について知る・調べる・まとめる。自国の教育制度や子供を取り巻く問題を振り返る・調べる、ディスカッション2 第9, 10回Unit10 「前進を続ける科学技術」日本の科学技術分野について知る・調べる、自国の科学技術の発展について振り返る・調べる・まとめる・発表する 第11, 12回Unit15 「多文化共生社会を目指して」 第13, 14, 15回 ここまでに勉強したテーマの中から、興味のあるトピックについてテーマを決め、グループで調べ学習、スライド作成、発表を行う
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	日本の文化や生活、社会についての資料を読み、日本社会についての理解を深めつつ、自国や他国・世界との比較を通して問題点を見つけ、それに対する解決法を提言できること、自分の意見を適切な日本語を用いて述べるようになることを目標とします。授業中のディスカッションや教師とのやり取りの中で、積極的に自分の意見や考えを述べ、適切な日本語とはどのようなものか、意見を述べ合う際にはどのようなふるまいをすべきなのか、社会・世界の中にはどのような問題があるのかなどに常に考えを巡らせてください。授業前に必ず教科書の該当部分を読み、授業で話したことから自分でテーマを見つけ、そのテーマについて授業後調べ、まとめて提出する、そのまとめをもとに発表する、ディスカッションするという訓練をしていきます。

教材・教科書 text	『クローズアップ日本事情 15 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times
参考文献 references	『中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』黒崎紀子編著石塚久代ほか著 凡人社
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N2以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級（読解A）【B1】 Advanced Japanese (Reading A) 【B1】
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	金 1・2
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、1. 遠距離結婚（1） 第2回：1. 遠距離結婚（2） 第3回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（1） 第4回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（2）、3. 父親の育児参加（1） 第5回：父親の育児参加（2） 第6回：4. 社内結婚、企業が後押し（1） 第7回：4. 社内結婚、企業が後押し（2）、5. 働き方―変わる・変える（1） 第8回：5. 働き方―変わる・変える（2） 第9回：中間テスト、6. なぜ少子化が社会問題なのか（1） 第10回：6. なぜ少子化が社会問題なのか（2）、7. 「買い物弱者」（1） 第11回：7. 「買い物弱者」（2） 第12回：8. 離れて暮らす親の見守り（1） 第13回：8. 離れて暮らす親の見守り（2）、9. ノーマライゼーションの地域をつくる（1） 第14回：9. ノーマライゼーションの地域をつくる（2）、10. 高齢社会は怖くない（1） 第15回：10. 高齢社会は怖くない（2） 第16回：6～10のまとめ、期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。特に、担当の学生は、内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。
教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。

留意点・予備知識 remarks	特になし
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。 (1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明 (2) 発表内容に対する質疑応答 (3) 発表内容に関する検討 (4) 教師からの解説
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級アカデミックジャパニーズ（聴解作文A）【B3】 Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A) 【B3】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/listening A
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものを学ぶ 2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける 3) 1)、2) で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける 4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。
授業の概要 course description	アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。また、大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション、【ライティング】ライティングの基礎Ⅰ（原稿用紙の使い方（縦書き・横書き）、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」） 第2回 【ラ】ライティングの基礎Ⅱ（文の基本、記号、引用）【リスニング】第1課「豊」① 第3回 【リ】第1課「豊」②【ラ】一テーマを述べる－「国の特別なもの」 第4回 【リ】第4課「知里幸恵さん」① 第5回 【リ】第4課「知里幸恵さん」②【ラ】一理由・経過を述べる－「before/afterの文」 第6回 【リ】第7課「フェアトレード」①【ラ】一判明していることを述べる－ 第7回 【リ】第7課「フェアトレード」②【ラ】一問題点を述べる－「少子高齢化」「新型コロナウイルス」 第8回 中間テスト 第9回 【リ】第6課「バイオミミクリ」① 第10回 【リ】第6課「バイオミミクリ」②【ラ】一定義する－ 第11回 【ラ】一比較する－「意見文」 第12回 【リ】第13課「子供の顔」①【ラ】一仕組みの説明－ 第13回 【リ】第13課「子供の顔」②【ラ】一因果関係－ 第14回 【ラ】一引用する－（データの利用、資料の引用）「論説文」 第15回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物10%、中間テスト30%、期末テスト30%、最終レポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します
教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著

参考文献 references	『大学生のための文章表現練習帳』坂東実子 国書刊行会 『改訂版 留学生のための 論理的な文章の書き方』二通信子他 スリーエーネットワーク 『大学・大学院留学生の日本語②作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 アルク (授業内で適宜使用しますが、購入しなくてもいいです)
留意点・予備知識 remarks	※プレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	サークル活動に見る日本社会① Insights in Japanese society through circle activity ①
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	月 7・8
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	講義を受けながら自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Aside from lecture, students will participate in student circle activity of choice, submits reports periodically and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 45%、報告 Presentations 30%、最終レポート Final essay 25%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J.Suwa before you are thinking about quitting circle activity.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語と英語 Japanese and English
その他 other	「サークル活動に見る日本社会②」は履修できません。 Not eligible for 'Insights into Japanese Society through Circle Activity ②'.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	芸術-津軽のアートとナラティブ-【教養】 Art and narrative of the Tsugaru region
副題 subtitle	芸術 - 津軽のアートとナラティブ
対象学生	Japanese students and international students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	火5・6
授業形式 class format	Lectures, fieldtrips, and practice レクチャー、フィールド、体験
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration 国際連携本部), Sekine Tatsuhito 関根達人 (Humanities and Social Sciences 人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course aims to enable students to deepen their understanding of the historical background of art forms from the Tsugaru region and the narratives they embody. They are introduced to Jomon and Ainu art forms, Tsugaru-nuri (Tsugaru lacquer-ware), Aizome and Koginzashi (indigo-dyeing and embroidery) and Neputa-e (paintings used for Neputa festival floats) as well as artists from the Tsugaru region and their works. 津軽地方のアートの歴史的背景とこめられたナラティブについて理解を深めます。縄文のアート、アイヌのアート、津軽塗、藍染め、こぎん刺し、ねぶた絵に加え津軽地方のアーティストと作品について学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	1 : Introduction ・overview 概要 2 : Jomon art ① 縄文のアート① 3 : Jomon art ② 縄文のアート② 4 : Ainu art アイヌのアート 5 : Tsugaru lacquer-ware ①津軽塗① 6 : Tsugaru lacquer-ware ②津軽塗② 7 : Kogin embroidery こぎん刺し① 8 : Indigo-dyeing 藍染 9 : Kogin embroidery こぎん刺し② 10 : Artists from Tsugaru ① 津軽地方のアーティスト① 11 : Artists from Tsugaru ② 津軽地方のアーティスト② 12 : Neputa painting ① ねぶた絵① 13 : Neputa painting ② ねぶた絵② 14 : Neputa painting ③ ねぶた絵③ 15 : Neputa painting ④ ねぶた絵④
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	評価は100%レポートに基づいて行われます。 Evaluations will be based 100%on students' written work.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: they will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習: 授業に備えて資料を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書きます。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Students will be required to pay for the materials used to make their own craftwork on fieldtrips. (Total estimated cost: approximately ¥3,000 depending on what each student chooses to make.) フィールドで体験する工芸制作の材料費は自己負担してもらいます。(選ぶ作品によって¥3,000前後)
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed (12:40-14:10) by appointment 水曜日(12:40-14:10) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability to to communicate with each other during class discussions and activities. 指導は日本語と英語で行われます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合くじ引きを行います。

日本語・日事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本美術史 Japanese Art History
副題 subtitle	From Buddhist Art to the Contemporary Scene
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Semester I
曜日 day 時限 period	火 7・8
授業形式 class format	Lecture and Active Learning
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA, Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	Students will develop insights into Japanese art by taking lectures and making presentation and project.
授業の概要 course description	Basic guidance about the topic will be given on lecture, followed by individual presentation.
授業の内容予定 schedule of the class	1. Guidance and Introduction: From Stone Age to 21th Century 2. Buddhist Art (Sculpture, Painting and Architecture) 3. Modern Architecture 4. Presentation #1 (Architecture in Hirosaki and around) 5. Traditional Painting and Ukiyoe 6. Presentation #2 (Traditional Painting or Ukiyoe Artist) 7. Modernity and Mingei 8. Kitaoji Rosanjin: A Case Study 9. Presentation #3 (Industrial Design) 10. Postwar Art Scenes 11. Marginal Art, Outsider Art 12. Presentation #4 (On-the-Road Watch) 13. Contemporary Art 14. Presentation #5 (Contemporary Artist) 15. Presentation #6 (Installation: Memory of Japan)
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Class Assignments 40%, Presentation and art project 60%.
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Class assignemts are to find an example of topic of the class. Prepare an example before class hour.
教材・教科書 text	None
参考文献 references	None
留意点・予備知識 remarks	Required course for JASSO Scholarship in 漫画・ジャパニメーションの比較文化研究
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed. 7・8 Period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Entirely in English. No Japanese.
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクト演習 (Regional Project Seminar)
副題 subtitle	津軽地域文化国際共修(つがるちいきぶんかこくさいきょうしゅう) A [Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru A-]
対象学生	留学生、日本人学生2, 3, 4年生
単位 credit	2
学期 semester	前期/First Semester
曜日 day 時限 period	火7・8
授業形式 class format	グループワーク、レクチャー、演習Group work, Lecture, Exercise
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部) Chiyo, TAKAHASHI (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	①青森県津軽地方に残る日本文化的な歴史遺産や伝統文化等についての理解を深める ②地方に残る歴史・文化的資源を教材として学ぶことを通して、他国の文化と比較してどのような特徴があるかを客観的に見る視点を身につける ③異文化を背景に持つクラスメートと一緒に活動することによって、国・言語・文化を超えて相手のことを理解する異文化コミュニケーションの能力を身につけ、自分の身の回りにある社会的な問題に気づき、柔軟な発想で解決する方法を提言することができるようになる ①Deepen student's understanding about the Japanese culture, history, and traditional culture, etc. especially which left in Aomori-ken Tsugaru area. ②By studying the history and culture of the region, students can objectively see the characteristics of your own culture compared to the culture of other countries. ③By working with classmates who have different cultures, you can acquire the ability of cross-cultural communication to understand the other person regardless of country, language, and culture, and become aware of social problems around you, and will be able to propose solutions with flexible ideas.
授業の概要 course description	青森県津軽地方の観光地や日本の伝統文化、伝統工芸等について留学生と日本人学生の混成メンバーのグループを作り調査、まとめ、発表、ディスカッションを行う。また、津軽の歴史文化専門の教授や伝統工芸の職人さん、伝統文化の伝承に関わる方をゲストスピーカーとして授業に招き講演、ワークショップを行い、実際にこぎん刺しをしたり、こけしの絵付けをしたり、ねぶた絵を描くなどの体験を行う。その後、グループに分かれ、津軽文化の中から一つテーマを決め、グループワークで調べ学習・ディスカッションを行い、津軽地方の歴史・文化を世界に発信するためのPR動画を複言語で作成する。本動画は、伝統工芸の工房を訪ねたり、その職員の方にインタビューをするなどして大学外で学生自身が情報収集、撮影を行い編集までをおこなう。「津軽地方を世界にPRする」ことを目的とし、日本人学生と留学生が協働で本プロジェクトに取り組み、日本文化の基礎知識と地方の豊かな文化資源の普遍的価値を再発見し、大学から地方活性化に寄与する方法を考え世界に津軽文化を発信する機会とする。 In order to learn about the Japanese culture, especially those traditional culture, artcrafts, etc. which is left in the Tsugaru region of Aomori prefecture where Hirosaki University is located, students will do groupwork to make research and presentation about the regional culture in Tsugaru. We invite special guests to make special lectures and workshops. The special guest, one is a Japanese culture(Tsugaru regional history and culture) experts professor, three of them are the professional craftman or teacher of traditional artcrafts in Tsugaru(Kokeshi, Koginzashi embroidery, Neputa picture drawing). And We will have three workshops which we actually make an artcrafts and visit to Kokeshi-museum in Kuroishi-city by bus as a field trip. After all the lectures and workshops, you pick up one traditional culture in Tsugaru region as a theme of PR video making in multilingual. Students themselves go visit to traditional craft factory or sightseeing spots to shoot video and gather the materials for it. Through these activities outside of the university, such as interviewing local staff, Japanese students and international students collaborate on the project work to "promote the Tsugaru region to the world". Finally, It will be an opportunity to rediscover the basic knowledge of Japanese culture and the rich cultural resources of the region, and to think about ways to contribute to regional revitalization from the university and disseminate it to the world.

授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーションと他己紹介 以降、以下の内容について授業内でスケジュールを立てます： 1. 津軽地方の文化や伝統工芸について、グループ発表（5つのテーマから選ぶ：ねぶたまつり、こけし、こぎん刺し、青森の文化、文化と社会の結びつき） 2. ゲストスピーカー、プロの職人さん、伝統工芸に係る人による講演、ワークショップ（テーマ：こぎん刺し、こけし、ねぶた絵他） 3. 黒石市こけし館へバスツアー（見学と絵付け体験）（土曜日に行きます） 4. グループワーク テーマ決め、ディスカッション、動画作成案の企画立案、動画撮影、編集、発表準備 第15回 動画発表会、総括 ※こけし館訪問と、ねぶた絵ワークショップは4月～5月の土曜日に行います。 ※6月終わりから7月中は授業を行いません（8時間4コマ分を振り替え）。その間にグループワークでビデオ作製をしていただきます。 ※最後に作成する津軽文化のPRビデオは多言語で作成してください。 Contents of this class: 1. Group presentation to prepare to research of regional traditional culture as a group mixed by international students and Japanese students for 4~5 themes (About the features of Aomori, Tsugaru cultures, Neputa-festival, Kokeshi doll, Koginzashi embroidery, The connection of the culture and the society). 2. The special lecture from the professor major in Tsugaru historical culture. 3. Lectures and workshops by guest professional craftsmen (Theme: Koginzashi embroidery, Kokeshi doll, Neputa picture, or other 4. Field tour to the Kokeshi museum in Kuroishi city by bus. 5. Making PR multilingual video (choose the theme, research and discussion, planning of video creation, video shooting, editing, presentation preparation) as a final task. 6. Final presentation of your PR Video in multilingual. ※We will arrange the date of those lectures, workshops, and field trip (2 times on Saturday in April or May) ※From week11 to week14 we have no class, but creating video by groupwork. ※The first class is for orientation and peer-introduction activity.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加態度10%、グループワークにおける活動（ポートフォリオ、相互評価による）40%、作成動画・発表の内容と最終レポート50% Class participation attitude10%、Activities in group work (self and peer evaluation)40%、Contents of the created video and presentation and the Final Report 50%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します。 It will be given in class.
教材・教科書 text	適宜プリントを配布します。 Information paper will be distributed as appropriate.
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	この授業は留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。使用言語は日本語ですが、日本語能力が十分でない学生も参加できるよう英語での通訳ややさしい日本語に直して解説する等します（できればN3以上。N4の人でも可）。最終的に作成してもらう動画は、多言語を使用したものを想定していますので、日本人学生もグループワークにおいては、留学生のメンバーとコミュニケーションを取ってこのプロジェクトを行っていただきます。このため、英語を使うのみでなく、易しい日本語を使ったり、ジェスチャーや漢字を使ったりして、学生間のコミュニケーションを積極的に行い、意思疎通を図ってください。 また、動画撮影に必要な機材は国際連携本部から貸し出しが可能ですが台数に限りがあるので要相談です。スマホ等を使用していただけにかまいません。できれば動画編集ソフトの知識等があると良いですが、なくてもメンバーと協力して勉強して身につけていきましょう。 This class is an "international co-education" class that both international students and Japanese students learn together. The language used is basically Japanese, but English translations or easy Japanese will be provided (desirely more than N3, but N4 level students can participate). The final PR video must be created in multiple languages, so students who take this class will be asked to communicate with classmates from all over the world to carry out this project in group work. For this reason, please not only use Japanese or English, but also use easy Japanese, gestures or Chinese characters to actively communicate with each other. The equipment required for video recording can be rented from the D-IEC in Hirodai, but consultation is required as the number is limited. You can use your smartphone etc. If possible, it would be nice if you had knowledge of video editing, but even if you don't have it, let's study and acquire it in cooperation with the members.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。 Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プロジェクトワーク、講演、グループワーク Project work, lectures, group work
その他 other	社会情勢やゲストスピーカーの都合により授業の内容が変更になる場合があります。 *This syllabus is subject to change based on the needs of the class. *The schedule or theme of the lectures by guest speakers is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	青森エクスカーションーCultural anthropology of Exhibitionー【教養】 Japanese Local Food Culture and Dietary Practices
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水5・6
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation, Field Study
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎（国際連携本部）、片岡太郎（人文社会科学部） SUWA Jun'ichiro (DIEC), KATAOKA Taro (Humanities and Social Sciences)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○現地調査のノウハウを身につけること Acquire skills for field research. ○現地調査を通して、青森の地域社会や自然について、探求していくことができるようになること Acquire ability to deepen understanding about local society or nature through field research.
授業の概要 course description	○対象とした視聴覚的な側面についてフィールドワークし、考古/文化人類学的な学修を身に着けます。 Archaeological/Anthropological study based on the audiovisual aspects in field work will be conducted through observing archaeological sites. ○青森の地域性について考古学的遺跡と路上景観のフィールドトリップから学習します。 Locality of Aomori will be explored through making field trips to archaeological sites and contemporary street landscape.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 授業テーマの概説と学習の要領について Introduction 2. 縄文時代とは何か About the Jomon Age 3. 収集と展示の文化史 Cultural history of collection and exhibition 4. 狩猟採集民 Hunter-gatherers 5. アニミズム Animism 6. 幻想としての縄文 The Jomon Imaginary 7. フィールドトリップの準備 Preparation of FT 8. 青森県内の縄文遺跡群と遺跡展示について Archaeological sites and display in Aomori 9～13. フィールドトリップ（終日）、是川遺跡（予定：授業5回分を使って八戸まで行きます） Field study in exhibition: Aomori Art Museum, Korekawa site, etc. 13～14. フィールドトリップ発表 Presentation on FT 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	発表80%、最終レポート20% Presentation 80%. Final Essay 20%.
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内容に関する予備の知識とまとめに取り組む。Study of and reflection on in-class materials.

教材・教科書 text	None
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	発表を含む授業のすべてを英語で行います。 This course is taught in English. フィールドトリップ（授業9～13に相当）は週末の終日実施します。 Field trip takes a whole day and is scheduled in weekend. フィールドトリップが実施できない場合は、映像を視聴してもらいます。 In case if field trip is cancelled, a video of archaeological sites is viewed.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日9・10時限目 or Team
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	In English.
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	文学-日本の絵本の世界【教養】 The world of Japanese picture books
副題 subtitle	文学-日本の絵本の世界
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	水7・8
授業形式 class format	Lectures、 discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部 Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できるようにすること
授業の概要 course description	This course explores the world of Japanese picturebooks. It harnesses picturebook theory to examine how picturebooks convey meaning. It then traces the evolution of picturebooks in Japan and examines predominant themes which recur in widely-read works by contemporary picturebook makers. 絵本論を活用し、絵本の日本での展開をたどり、今日広く読まれている作品の主たるテーマを検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1-2: Introduction and overview 概要 Sessions 3-5: How picturebooks make meaning 絵本と意義 Sessions 6-8: A history of Japanese picturebooks 日本の絵本の歴史 Sessions 9-13: Contemporary picturebook makers and their works 現代の絵本作家と作品 Sessions 14-15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100% on students' written submissions. 評価は100%レポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be assigned readings. テキストを予習します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed (12:40-14:10) by appointment 水曜日 (12:40-14:10) 予約要 Wednesday 9・10 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be conducted in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員:20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	文学 - 日本の戦争文学【教養】 Japanese war literature
副題 subtitle	文学 - 日本の戦争文学
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	木5・6
授業形式 class format	Lectures, discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept.of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できるようにすること
授業の概要 course description	This course harnesses postwar literature as a means of gaining a deeper understanding of how WWII is remembered in Japan. We will read fiction, non-fiction, comics and picturebooks which portray war as well as watching their screen versions. 戦後の文学を活用し、第二次世界大戦が日本においてどのように記憶されているのか理解を深めることを目標とします。戦争に関連するフィクション、ノン・フィクション、漫画や絵本、映画により、検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により下記の予定を変更する場合があります。 Session 1: Introduction 概要 Session 2: Historical background 歴史的背景 Session 3-4: Harp of Burma 『ビルマの竊琴』 Session 5: Bones 『骨』 Session 6-7: Unexpected muteness 『不意のおし』 Session 8-10: Barefoot Gen 『はだしのゲン』 Session 11-12: Picturebooks depicting the war years 戦争をテーマとする絵本 Session 13: Hiroshima no Pika and The Hiroshima Panels 『ひろしまのピカ』と『広島の日』 Session 14-15: The Friends 『夏の庭』
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based 100% のwritten submissions. 評価は100%レポートによって行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: They will be required to reflect on the content of classes to complete their written work. 予習: 授業にそなえて作品を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書き
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and International students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed (12:40-14:10) by appointment 水曜日 (12:40-14:10) 予約要

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名定員を超えた場合はくじ引きを行います。

授業科目名 subject [英文名]	地域の多様性と活性化Diversity and Revitalization in the Region
副題 subtitle	多文化共生時代における自己のキャリアを考える①(国際共修授業) [Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society]
対象学生	留学生、日本人学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	木7・8
授業形式 class format	演習・講義・グループワーク
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 大学で学んだ高度な専門知識を生かして、国や文化を問わず世界で活躍するために、社会人として必要な知識や態度を身につける 2. 多文化共生社会を生き抜くために必要な異文化コミュニケーションの能力を身につけ、社会を構成する一員として生活していくために必要な知識や法律を学び、自らのキャリア形成について考える 3. 異なる背景を持つ人とコミュニケーションし、1つの目的に向かって協働できる人材となるために、世界情勢を学ぶと同時に身近な地域に存在する問題に目を向け、柔軟な思考で問題を解決するための思考力や発信力を身につける Acquire the knowledge and attitude necessary as a member of society to play an active role in the world regardless of country or culture by making use of the advanced specialized knowledge learned at the university. Acquire the ability of cross-cultural communication necessary to survive a multicultural society, learn the knowledge and laws necessary to live as a member of society, and think about your own career development. In order to become a human resource who can communicate with people from different backgrounds and collaborate toward one purpose, while learning the world situation, we will look at the problems that exist in the immediate area and solve the problems with flexible thinking. Acquire the ability to think and communicate.
授業の概要 course description	本授業では、留学生と日本人学生がともに、世界的な視野で「キャリアデザイン」について学び、特にその中でも大学周辺地域（青森県）における地域の人口減少問題や過疎、若者の都会流出、都市と地方の格差、労働人口の減少に伴う外国人労働力の受け入れなどについてフォーカスすると同時に、日本全体、ひいては世界のビジネス事情、社会問題等を取り上げ、グループワークでディスカッションの機会を持つことによって、大学卒業後の一社会人としての世界の中での「自己」の「キャリアデザイン」について考えるきっかけとする。また、5名のゲストスピーカー（テーマ：青森県の経済状況、高度外国人材の日本企業への就職の問題、外国で就職すること（起業家、元弘大留学生））の話を聞き、外国人から見た日本の企業風土や職場でのコミュニケーション、ひいては日本経済や日本社会の抱える問題等について考える機会とし、これらの問題についてグループで調査やディスカッションを行い、最終レポートとしてグループ発表を行う。 In this class, both international and Japanese students will learn about “career design” from a global perspective. Learn about regional disparities and the problem of accepting foreign labor due to the declining working population. Five guest speakers will discuss the economic situation in Aomori Prefecture, the issue of finding employment at Japanese companies for highly skilled foreign workers, and the issue of finding employment overseas (by the Japanese entrepreneur who studied in the United States and found employment there, and ex-international students graduated by Hirosaki-U. found job in Aomori) and use it as material for thinking about what a “career” should be in a multicultural society that has already begun. Textbooks, five lectures, international students and Japanese students on issues such as what it means for people with different cultural backgrounds to work together, and what kind of skills are needed to be active on the world stage. This discussion will be repeated and lead to the final group presentation. In the final presentation, we will set a theme related to “multicultural society and career”, conduct research, analysis, and consideration through group work, and create and present slides. At the end, write a report on what you learned in class.

授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション、自己紹介 第2回 講義1. 日本の「就職活動」について ディスカッション:「新卒一括採用、就活、終身雇用」といった日本の企業風土・就職事情について 第3回 講義2. 『大学生として学ぶ自分らしさとキャリアデザイン』第1章「大学生活で取り組むべきこと」第2章「キャリアをデザインするために」+ディスカッション 第4回 講義3. 第3章「大学生としてのアイデンティティ」+ディスカッション 第5回 講義4. 第4章「これからのキャリアをイメージする」+ディスカッション 第6～10回 ゲストスピーカー5名による講演(感想シート提出) 第11, 12回 グループワーク(発表)教科書第5章～第9章+ディスカッション 第13回 最終発表テーマ決め、グループ分け 第14回 日本の就職活動、企業風土、都市と地方の経済的格差、青森県の状況、青森県内における外国人材の活躍等について、グループでディスカッション、調査、分析、考察、スライド作成 第15回 最終発表会 Week 1 Orientation and self-introduction Week2 Lecture1. About the system of employment in Japan Week3 Lecture 2. The textbook:『大学生として学ぶ自分らしさとキャリアデザイン』Chapter1.「大学生活で取り組むべきことThe things you better to do while in the University」Chapter2.「for designing your carrer」+Discussion Week4 Lecture 3. Chapter 3「大学生としてのアイデンティティ Identity as a University Student」+Discussion Week5 Lecture 4. Chapter4.「これからのキャリアをイメージする Imagine how your carrer in your future」+Discussion From Week 6～10 The special lecture by five guest speakers(write the report for each lecture) Week11, 12 Presentation by a group : Chapter5～9+Discussion Week13 Make group for the Final presentation and decide the theme. Week14 Group work(Discussion, Research, Making ppt, preparation of presentation) Week15 Final presentation
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加10% グループワークでの役割分担と自己および他者評価20%、最終発表30%レポート40% Active participation and submissions 10% Division of roles in group work and self- and others evaluation of final presentation 20%, Final presentation 20% Final report 50%
準備学習(予習・復習)等の内容 preparation for class	グループワークでは、締め切りまでにメンバーで協働し発表準備などをするため、授業時間内外での調整が必要です。互いに時間を作り、課題に取り組むようにしてください。 In group work, it is necessary to make adjustments both inside and outside of class time in order to work together and prepare for presentations before the deadline. Make time for each other and work through the challenges.
教材・教科書 text	『大学生として学ぶ 自分らしさとキャリアデザイン』高丸理香他 有斐閣ブックス(2021)
参考文献 references	授業内で適宜、URL等を示します。
留意点・予備知識 remarks	留学生はN2以上の日本語能力が必要です(ただし、N3の学生でも日本での就職や日本のビジネスに興味がある人、日本人と話したいという強い気持ちがある人は、英語ややさしい日本語でサポートをしますのでもっていいです)。本授業の上限定員数は留学生20名、日本人学生20名です。定員数を超える場合は、担当教員による審査により、人数を調整します。 This class or special lectures will be provided in Japanese. So, International students required above N2 Japanese proficiency. But if you are interested in the Japanese business style or the career in Japan, N3 students could take(you should do preparation of every class). Takahashi will provide you some English translation or easy Japanese support. The limited number of students in this class is 20 international students and 20 Japanese students. If the number exceeds the capacity, the number will be adjusted by the examination by the instructor in charge.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。 Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	演習・アクティブラーニング Face-to-face classes, seminar, discussion, group work, presentation
その他 other	※ゲストスピーカーによる講演（テーマ、日程、講演者）は変更の可能性があります。 ※講演会はオンラインで行われることもあります。 ※授業の内容に変更がある場合があります。 *This syllabus is subject to change based on the needs of the class. *The theme or schedule of the lectures by guest speakers is subject to change. *Some of the Lectures may be held online.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	芸術-茶室の美学-【教養】 The Aesthetics of the Japanese Tea Room
副題 subtitle	茶室の美学
対象学生	International Students and Japanese students
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	木9・10
授業形式 class format	Lectures, groupwork and fieldwork レクチャー、グループワーク、見学
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Tada Megumi 多田恵実 (教養教育開発実践センター) Katagiri Sanae 片桐早苗 (教養教育開発実践センター)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course introduces the aesthetics of Japanese tea ceremony and the room in which it takes place. We will watch portrayals of tea ceremony on screen and visit a tearoom to gain a basic understanding of this art before learning in more detail about the matcha, wagashi, flower arrangement, calligraphy, and traditional Japanese attire integral to its practice. この授業は茶道と茶室の美学の入門です。映画の鑑賞や茶室の訪問を通して茶道を紹介し、抹茶、和菓子、華道、書道、和装について理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1~3: An Introduction to the tearoom, utensils and philosophy central to Japanese tea ceremony. 茶道の茶室、道具や精神の基礎知識 Sessions 4~6: The practice of tea ceremony and a tea room visit 茶道の体験、茶室へ訪問 Session 7: Wagashi和菓子 Session 8:Ikebana 生け花 Sessions 9~10: Calligraphy 書道 Sessions 11~13: Japanese clothing 和装 Sessions 14~15: Seasonal aesthetics and practices, concluding with a temple visit 季節感と習慣、お寺訪問
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100%on student's written submissions. 評価は100%レポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be asked to carry out group work to prepare for classes. They will be required to review the content of classes to submit their written work. 予習としてグループワークを行い、授業内容を復習してレポートを提出します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other to complete group work. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がgroupワークを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed 12:40-14:10 by appointment 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will meet in person. They will be conducted on Teams if circumstances demand. 授業は対面で行い、メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。

その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員:20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。
-----------	--

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	言語学の世界 The World of Linguistics
副題 subtitle	協定校の学生と交流しよう Let's interact with the students from partner universities
対象学生	学部学生、特別聴講学生、日研生 Undergraduate Student, Special Auditor Student, Japanese studies Student
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期/First Semester
曜日 day 時限 period	金9・10
授業形式 class format	Lecture, Group discussion
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○言語学あるいはその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、言語を社会や人間との関係から理解できるようになること。 具体的には、まず、留学生とやさしい日本語や、日本語以外の外国語を用いての意思疎通を経験することで、それを通じて、外国人とのコミュニケーションについて、何ができて何が難しいか、どのようにすれば通じやすいかなどの知見を得ます。 また、外国人が日本語を学習するとはどのようなことか、主に言語学的な観点から講義を聞いたり、学習者本人から話を聞いたりして理解を深め、学校や職場に外国人がいた場合などに、スムーズなコミュニケーションが取れるようになります。ひいては、異文化に対する好奇心や柔軟な姿勢、積極性を向上させることが最終的な目標です。 To gain knowledge of linguistics or its neighboring fields To be able to understand language in relation to society and human beings based on the above academic knowledge and skills. Specifically, the first step is to experience communicating with foreign students using easy Japanese or foreign languages other than Japanese. Through this experience, students will gain knowledge of what is possible and what is difficult in communicating with foreigners, and how to communicate more easily. Furthermore, students will enhance their comprehension of the challenges faced by foreign learners of Japanese by attending lectures on linguistic aspects and listening to the experiences of such learners. This will enable them to communicate more effectively when interacting with foreigners in their schools or workplaces. Ultimately, the aim is to foster a greater sense of curiosity, adaptability, and open-mindedness towards different cultures.
授業の概要 course description	この授業は、海外の協定校の学生とオンラインで交流する時期と、弘前に留学している留学生と言語学的なトピックを用いて対面で交流する時期があります。前者は、7月に、2回の授業でベトナムの協定校と100%オンラインで交流する予定です。それに先立って、5月にベトナム事情とベトナム語の入門的な講義を設けます。これは2コマ程度の予定です。全部で5回程度を費やします。日本語でベトナム語を学ぶ機会はめったになく、貴重な機会です。また、日本へ来たことがなく、日本のこともあまり知らない海外の学生と交流することも大変意義のあることです。 言語学に関する講義（それ以外の10回）は、講義とグループディスカッションの形式で行われます。これは、各言語共通の話題について（例：外来語）日本語に関する講義を受けた後に、留学生を交えて、それについて（例：外来語の長所と短所）話し合ったり、留学生の母語ではどのような現象が起こっているか、尋ねたりするものです。 また、学期中に、授業外学修として、タンデムラーニングという1対1の交流が必要です。各々が都合の良い時に、日本語とそれ以外の言語で、30分ずつ、1時間、半期の間に2人の人と3回ずつ、計6回行う予定です。国内学生が多くて、留学生が少ない場合は、国内学生の当たる回数を半分にする場合があります。1対1と言っても、話題は前もって決まっており、お互いに何を話すか準備しますので、特に難しくありません。話題は日常的なもので、言語学とは特に0関係ありません。授業での交流の円滑化に行います。これまでの学生には、授業外活動でありながら評判の良かった活動です。 授業中に行うディスカッションはグループで、日本語で行われますので、英語ができて、日本語が充分でない学生には対応できないので注意してください。 There will be two periods for this class: one for online interaction with students from partner schools abroad, and one for face-to-face interaction with international students studying in Hiroaki on linguistic topics. The former will take place in July, when the class will interact 100% online with a partner school in Vietnam over two class sessions. Prior to this, an introductory lecture on the situation in Vietnam and the Vietnamese language will be provided in May. This will be about two sessions. In total, we will spend about 5 sessions. This is a rare opportunity to learn Vietnamese in Japanese. It is also very meaningful to interact with foreign students who have never been to Japan and do not know much about Japan. The lectures on linguistics (the other 10 lectures) are given in the form of lectures and group discussions. This consists of a lecture on a topic common to each language (e.g., loan words) in Japanese, followed by a discussion of the topic (e.g., advantages and disadvantages of loan words) with international students, and then asking what phenomena are occurring in the native languages of the international students. Also, during the semester, one-on-one interaction called tandem learning is required as an out-of-class learning experience. We plan to do this six times during the semester, three times with two people each, for one hour, 30 minutes each, in Japanese and another language, when it is convenient for each of us. If there are too many domestic students and not enough international students, the number of times the domestic student hits the table may be cut in half. 1:1 talk is not particularly difficult, since the topic is decided in advance and both parties prepare what they will say. The topics are everyday topics and have not particular relevance to linguistics. This is done to facilitate interaction in class. This is an out-of-class activity that has been well received by students in the past. Please note that in-class discussions will be held in groups and in Japanese, so students who can speak English but not enough Japanese will not be accommodated.

授業の内容予定 schedule of the class	1回目 ガイダンス、抽選、言語学の下位分類 2回目 音声、音韻（グループディスカッション、以下GD「拍」について） 3回目 ベトナム語・ベトナム文化1 4回目 ベトナム語・ベトナム文化2 5回目 イントネーション、アクセント（GD 日本語のアクセントに関する認識や意見） 6回目 言語の類型と日本語の語の形態（GD 自分の言語の名詞、形容詞や数詞の不規則変化の動向） 7回目 日本語の動詞/形容詞の活用と歴史（GD 自分の言語の活用や外来語の動向） 8回目 日本語の敬意表現「やりもらい」の現状と歴史（GD 自分の言語の婉曲表現の動向） 9回目 日本語のモダリティ（GD 自分の言語のモダリティ表現の動向） 10回目 日本語の会話のパターン、役割語（GD 自分の言語の会話のパターン） 11回目 日本語の表記と意識（GD 自分の言語の表記に関する情報提供） 12回目 交流の準備 13回目 ベトナムの大学との交流1（予定） 14回目 ベトナムの大学との交流2（予定） 15回目 まとめ 1st session: Guidance, drawing lots, and introduction to subcategories of linguistics 2nd session: Phonetics and phonology (group discussion on 'haku') 3rd session: Vietnamese language and culture 1 4th session: Vietnamese language and culture 2 5th session: Intonation and accent (group discussion on perceptions and opinions about Japanese accent) 6th session: Language typology and Japanese word forms (group discussion on trends in irregular variation of nouns, adjectives, and numerals in their own language) 7th session: Conjugation and history of Japanese verb-adjectives (group discussion on trends in conjugation and foreign words in their own language) 8th session: Current status and history of the Japanese honorific expression "yarimorai" (group discussion on trends in euphemisms in their own language) 9th session: Modality in Japanese (group discussion on trends in modality expressions in their own language) 10th session: Conversation patterns in Japanese and role words (group discussion on patterns of conversation in their own language) 11th session: Japanese orthography and consciousness (group discussion on information about the orthography of their own language) 12th session: Meeting preparation for exchange 13th session: Exchange with a Vietnamese university 1 (tentative) 14th session: Exchange with Vietnamese universities 2 (tentative) 15th session: Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grading Policy: Participation: 30% Group discussions: 30% Tandem learning: 20% Final project: 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：タンデムラーニングにより、留学生と日本人の混成集団であっても、授業中にディスカッションしやすい人間関係を授業外に作ります。また、授業で扱うトピックをあらかじめ読んで、話す内容を準備しておいてください。 復習：毎週、授業で知ったこと、気がついたこと、考えたことを書く課題が出ます。3日以内に指定のラーニング・マネジメントシステム（Teamsの予定）に提出しなければなりません。 Preparation: Through tandem learning, you will create relationships outside of class that will facilitate discussion in class, even in mixed groups of international and Japanese students. Also, please read in advance the topics to be covered in class and prepare what you will talk about. Review: Each week, you will be given an assignment to write down what you learned, noticed, and thought about in class, which must be submitted to the designated Learning Management System (scheduled for Teams) within 3 days.
教材・教科書 text	プリント Prints to be prepared by the teacher
参考文献 references	なし

留意点・予備知識 remarks	留学生は、日本語のディスカッションに参加できるレベルでなければなりません。一般的に言う と中級後半以上ですが、特に聞いたり話したりできる必要があります。 留学生と国内学生を同数にするために、抽選を行いますので、授業参加希望者は、最初の日に 来ないと受講できません。注意してください。 また、抽選で人数を調整しているため、授業の途中で授業を止めることはしないでください(国 内学生が余ります)。最初から授業の内容がわかるように、シラバスで詳しく説明していますが、 不明な点は遠慮せず、担当教員に質問してください。 International students must be able to participate in discussions in Japanese. Generally speaking, this is late intermediate level (Chuukyuu koohan) or above, but they must be able to listen and speak in particular. In order to have an equal number of international and domestic students, a lottery will be held, so those who wish to participate in the class must come on the first day to attend. Please be aware of this. Also, since the number of students is adjusted by lottery, please do not stop the class in the middle of the course (domestic students will be left over) . The syllabus explains the class in detail so that students can understand the class from the beginning, but please do not hesitate to ask questions to the instructor if you have any doubts.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	質問はメールやチャットで受け付けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko(アットマーク)hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業。ただし、ベトナム語の学習時と、協定校の交流時は先方はオンラインで、弘大に在籍 する学生は教室から受講する。 Face-to-face classes. However, when learning Vietnamese and during exchanges with partner schools, the other party is online, while students enrolled at Hiro-dai take classes from the classroom.
その他 other	参加者はベトナム語を真剣に勉強することが求められます。 Participants are required to study the Vietnamese language seriously.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- Internship A-Apple cultivation, product development, marketing-
副題 subtitle	インターンシップA： リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who can converse in basic Japanese (Some English support available) 入国し、日本語で日常会話のできる交換留学生（英語のサポートあります）
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	月9・10
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Apple cultivation and related industries, for which Aomori prefecture has the largest share in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in cultivation, product development and marketing. 学生に栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at an Apple Orchard, Ridun Co. Ltd. for 6 Saturdays during the first semester (Dates to be announced). They will be required to shadow and support a wide range of staff duties. 前期中の土曜日6回リンゴ農園株式会社リズンに勤務し各種の業務をサポートする(日程は後日確定)。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. They will be required to take a short local train ride from a station close by the University in order to reach the orchard. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。大学の近くの駅から電車で通勤します。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップA-観光PR-(対面) Internship A-Tour Promotion- (Online and in person)
副題 subtitle	インターンシップ A: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	金 5・6
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップ日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the officials of Hirosaki City International Tourism Division. 弘前市観光部国際広域観光課のスタッフとともに働く機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with city officials, including translating promotion materials, writing posts for the Tourism division's instagram account, and taking part in on-site training for Japanese guides. 市役所職員とともに作業し、資料の翻訳、観光部のインスタグラムの投稿、ガイド学校のフィールドワークに参加。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read resources before attending meetings. 打ち合わせに先立って資料の熟読が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 水曜日 12:40~14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Students will be required to go to the city office to attend staff meetings, which may end later than 14:10, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. This internship will also involve a measure of weekend work. Dates to be announced. 学生が弘前市役所で出席する会議は14:10以降に終了する場合があるため、14:20から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、一定の週末の勤務も含みます。日程は後日調整となります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップA-シティ・プロモーション- Internship A-City Promotion-
副題 subtitle	インターンシップ A: シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above who have arrived in Japan 日本語中上級以上の語学力を有し、入国した交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	金 7・8
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワ ダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Japan. 日本で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students who have arrived in Japan first-hand experience of work in municipal administration. このインターンシップは入国できた学生に地元自治体事務に関わる仕事の実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will be required to work at the Hirosaki City Office during their free periods, and pre-arranged weekends when involving city events (Dates to be negotiated and confirmed). Duties will pertain to city promotion and are anticipated to involve gathering information and preparing promotion materials. A measure of remote work may be incorporated, depending on circumstances. 学生の空きコマやイベントと関わる場合はあらかじめ調整した週末、弘前市役所に勤務する。業務は、リソースが豊富な弘前市が近年戦略的に進めている国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わるもので、弘前市の情報の発掘、PR映像、チラシ等の編集、作成、効果的活用の補助などを行う。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki City is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップA-Webマーケティング- Internship A-web marketing-
副題 subtitle	インターンシップ A: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of English OR Korean OR Chinese proficiency (other languages will also be considered) 英語、韓国語 あるいは中国語 の高い言語能力を持った交換留学生(他言語も考慮します。)
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	月 7・8
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate tourism-related websites operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available on the internet. They will then conduct marketing analysis of the information they have posted and utilize this for further transmission of information and tour content development. 学生は株式会社コンシスが運営している観光関連情報サイトを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。また発信した情報のマーケティング分析を行い、情報発信や観光コンテンツの開発に活かす。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1~2: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3~13: Weekly meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Sessions 14~15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1~2: 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 3~13: ミーティング・課題提出 14~15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。

参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Wed 5・6 (12:40-14:10) by appointment. オフィス・アワー水曜日5・6 (12:40～14:10) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. Students will be required to go to the company office to attend staff meetings, which may end later than 15:50, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は15:50以降に終了する場合があるため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40～14:10)をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップA-地域ツーリズム- Internship A-Regional Tourism-
副題 subtitle	インターンシップ A: 地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	金 9・10
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間土曜日に津軽藩ねぶた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Wednesday 12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40～14:10)をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	自主研究 IA Seminar IA
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生および授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深化させる。 To deepen understanding of the study materials.
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物によって採点する。 Based on assignments.
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for designated JASSO programs absolutely.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)
その他 other	

後期

(Ⅱ Semester)

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語基礎B Introductory Japanese B
副題 subtitle	
対象学生	International students with <u>NO</u> or very limited background of Japanese
単位 credit	8単位 (8 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	月 5・6 火 3・4 水 3・4 金 3・4
授業形式 class format	Lecture, practice and activities
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) OYAMA, Nobuko (Department of International Education and Collaboration) 山崎 達郎 (非常勤) YAMAZAKI, Tatsuro 田中 美由紀 (非常勤) TANAKA, Miyuki
授業としての具体的到達目標 goal of the class	1) To be proficient on on basic patterns/expressions of Japanese (equivalent to JLPT N5 level) 2) To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A1 and A2-1 of JF standard) 3) To be proficient on reading and writing simple passage with <i>Hiragana</i> , <i>Katakana</i> and some basic <i>Kanji</i> .
授業の概要 course description	This course covers the first half of elementary Japanese A1 of JF Standard. Emphasis both on structure building and on proficiency of one's language use.
授業の内容予定 schedule of the class	Reviewing <i>Hiragana</i> and <i>Katakana</i> on the first four weeks. Also, from the week 1 we begin elementary level of speaking, listening, reading and writing as well as learning basic sentence patterns. Introduction to writing systems and some <i>Kanji</i> and some aspects of culture related to the topic of the lessons. Week 1-2. <i>Hiragana</i>, Japanese writing system and pronunciation. Greetings, Introduce ourselves, Ask and tell people names, majors at school, time Week 3-4. <i>Katakana</i>, Ask and answer how much things cost, Do shopping, Order food in a restaurant Week 5. General knowledge about <i>Kanji</i>. Talk about daily activities, Extend accept and refuse invitations Week 6. Ask and describe where things/people are, Talk about things that happend in the past Week 7. Talk about the travel, Make offers and invitation, Likes and dislikes Week 8. Make requests, Ask for and give permissions, Rules and regulations, Give reasons Midterm Exam Week 9. Talk about family and friends, Describe how people are dressed Week 10. Talk casually, Express thoughts and opinions Week 11. Talk casually in the past, Report someones speech Week 12. Vacation plans. Compare things and people. Talk about future plans Week 13. Express what we want to do. Talk about our experiences and hometown Week 14. Give and ask for an explanation. Describe symptoms of illness Week 15. Review Final Exam
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	Assessment by student's performance in the classroom, number of assignments, and mid-term and final exams.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Spend a least TWO hours for the review, assignments, and the preparation of the following class contents everyday. Please check before the class Genki Videos and Genki Sentence Patterns. Try to use Japanese in your daily life what you learned in the class. Be part of the Hirosaki Community with your proficiency of the language.

教材・教科書 text	Genki I Third Edition, the japan times publishing Genki Workbook Third Edition, the japan times publishing
参考文献 references	Self-Study Kana Workbook. AOTS. Kanji Look and Learn The Japan Times Genki Videos https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/dialoguevideo.html Video Collection of Genki Sentence Patterns https://genki.japantimes.co.jp/site/video/en/ Video Clips for Culture notes https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/culturenote/ Applications for a smartphone : GENKI Vocab for 3rd Ed. GENKI Kanji for 3rd Ed. GENKI Conjugation Cards
留意点・予備知識 remarks	We recommend using the application to review and practice vocabulary, Kanji and Conjugation. Your initiative of learning will help you learn autonomously. Attend the class punctually and do not skip any single class to gain solid knowledge of the language.
授業内容に関する 質問・疑義等 Office Hours	Please ask during the class to the teacher or have an appointment by mail or Teams.
Eメールアドレ ス・HPアドレス E-mail address・ HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業 方法 Class form and method	We emphasize first the study of Kana and vocabulary. The sufficient knowledge of Kana supports the next step of Basic Japanese Language learning. Combination of lectures, practice and activities.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級（総合B） Basic Japanese B
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hiroaki University (equivalent to N5 of JLPT)
単位 credit	6単位 (6 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	月 3・4 火 3・4 金 3・4
授業形式 class format	
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration), 山崎達郎 (国際連携本部) Tatsuro, YAMAZAKI
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	• One can listen and comprehend conversations encountered in daily life and generally follow their contents, provided that they are spoken slowly. • One can use expressions appropriate to the persons and situation to carry out objectives in a variety of everyday situations.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics for each lesson in the textbook are as follows: The students will start working through the textbook immediately after the orientation. Exams will be held periodically after Lessons 16, 19, and 22. Lesson 13: Looking for a Part-time Job Lesson 14: Valentine's Day Lesson 15: A Trip to Nagano Lesson 16: Lost and Found Lesson 17: Grumble and Gossip Lesson 18: John's Part-time Job Lesson 19: Meeting the Boss Lesson 20: Mary's Shopping Lesson 21: Burglar Lesson 22: Education in Japan One lesson is taught in four sessions. (Each session is a 90-minute class period.) Session 1-3: • Review of conversations and vocabulary usage • Grammar drills • Practice of conversational expressions and speaking • Optional: role-plays, dictation, and repetition exercises Session 4: • Review of content covered in sessions 1-3 • Listening comprehension exercises • Workbook activities • Review of new vocabulary for the next lesson
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Three regular examinations - 40%. Homework -----40%. Quizzes -----20%.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.

教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The second half of the beginner level can be tough, and some students might feel overwhelmed. But by attending classes and reviewing the lessons, you'll build a solid foundation in Japanese that'll make it easier to move on to the next level. Plus, the textbooks have been used in universities worldwide, especially in English-speaking countries, for many years. They're well-suited to the needs of university students and come with plenty of supplementary materials to help you learn.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	No office hour will be set for this course. Write questions to instructors by email or Teams chat whenever you need.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams or Flip.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級 漢字・読解・作文B Basic Japanese Kanji/Reading Comprehension & Writing B
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University (equivalent to N5 of JLPT)
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	木 3・4
授業形式 class format	
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達目標 goal of the class	• One can read and understand passages on familiar daily topics written in basic vocabulary and Kanji. • One can write simple emails, introduce your favourite places, translate lyrics, etc.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics and Kanjis for each lesson in the textbook are as follows 1st and 2nd week L1 日本のおもしろい経験 (漢字: 物鳥料理特安飯肉悪体同着空港昼海) 3rd and 4th week L2 悩みの相談 (漢字: 彼代留族親切英店去急乗当音楽医者) 5th and 6th week L3 私が好きな所 (漢字: 死意味注夏魚寺広足転借走場建地通) 7th and 8th week L4 漫画「ドラえもん」 (漢字: 供世界全部始週考開屋方運動教室以) 9th and 10th week L5 オノ・ヨーコ (漢字: 野習主歳集発表品写真字活結婚歩) 11th and 12th week L6 大学生活 (漢字: 目的洋服堂力授業試験貸図館終宿題) 13th and 14th week L7 手紙とメール (漢字: 春秋冬花様不姉兄漢卒工研究質問多) 15th week L8 猫の皿 (漢字: 皿声茶止枚両無払心笑絶対痛最続) 16th week Final Exam
成績評価方法及び 点基準 of evaluation	Final examinations . 40%. Homework 30%. Quizzes 30%.
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize Kanji using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材・教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The second half of the beginner level can be tough, and some students might feel overwhelmed. But by attending classes and reviewing the lessons, you'll build a solid foundation in Japanese that'll make it easier to move on to the next level. Plus, the textbooks have been used in universities worldwide, especially in English-speaking countries, for many years. They're well-suited to the needs of university students and come with plenty of supplementary materials to help you learn.

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	No office hour will be set for this course. If you have any questions, ask them in class.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams or Flip.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級前半（総合B） Intermediate Japanese 1 B
副題 subtitle	一般日本語中級前半
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位（4 Credits）
学期 semester	後期（II semester）
曜日 day 時限 period	火 3・4 木 7・8
授業形式 class format	講義と活動（Lecture & Activities）
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々なタスクを行うのに必要な言語知識（語彙、文法・表現、漢字のことばなど）と言語スキル（メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など）を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	第1週/第2週 ガイダンス 習い事は役に立つ？（習い事の経験について自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語ることができる） 第3週/第4週 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く？（日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる） 第5週/第6週 昔話の世界を知ろう（昔話の流れを理解し、新しい結末を書く） 第7週/第8週 旅の計画を立ててみよう（具体的な計画を立てるために、クラスメートと話し合うことができる） 中間テスト 第9週/第10週 違いについて考えてみよう（自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりある文章を書くことができる） 第11週/第12週 音楽の力（ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点が理解できる） 第13週/第14週 日本から世界へ（点字ブロックの誕生や発展について事実に基づいた説明文を読み、主題を理解することができる） 第15週/第16週 プロジェクト 本コースのテーマの中から1つ選び、日本語でインタビューをする、その結果をまとめて発表し、レポートを書く。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、漢字テスト20% プロジェクト発表20% プロジェクトレポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著（2022）『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』スリーエーネットワーク
参考文献 references	仲山淳子（2021）『日本語文法ブラッシュアップトレーニング』アルク

留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへと なっていきます。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分たちで考えた計 画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使って行うようにしま しょう。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・ HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプット メイン タスクをする準備）⇒メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やりとり」）⇒文 型・表現⇒ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇒漢字の言葉⇒質問文を使ったやりとり⇒振 り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	中級後半（総合 B） Intermediate Japanese 2 B
副題 subtitle	
対象学生	今年度前期に「中級後半（総合A）」を受講した学生、または日本語能力試験のN3かCERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credit	4 単位（4 credits）
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火 3・4 木 3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko （非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字と語彙〔ごい〕、文型と表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。主体的に学んで行けるよう、情報収集能力と問題解決能力を身につける。
授業の概要 course description	1. プレタスクでお互いの考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙、文型・表現の小テストを行って定着を図る。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：オリエンテーション 第2回：第1課 なぜその言葉？①プレタスク 第3回：第1課 なぜその言葉？②メインタスク 第4回：第1課 なぜその言葉？③ポストタスク 第5回：第1課 なぜその言葉？④復習 第6回：第2課 ユニバーサルデザインとは？①プレタスク 第7回：第2課 ユニバーサルデザインとは？②メインタスク 第8回：第2課 ユニバーサルデザインとは？③ポストタスク 第9回：第2課 ユニバーサルデザインとは？④復習 第10回：第3課 公共施設を利用している？①プレタスク 第11回：第3課 公共施設を利用している？②メインタスク 第12回：第3課 公共施設を利用している？③ポストタスク 第13回：第3課 公共施設を利用している？④復習 第14回：第1課～第3課 復習 第15回：第4課 違う自分になりたい？①プレタスク 第16回：第4課 違う自分になりたい？②メインタスク 第17回：第4課 違う自分になりたい？③ポストタスク 第18回：第4課 違う自分になりたい？④復習 第19回：第5課 災害に対して準備している？①プレタスク 第20回：第5課 災害に対して準備している？②メインタスク 第21回：第5課 災害に対して準備している？③ポストタスク 第22回：第5課 災害に対して準備している？④復習 第23回：第6課 地球の環境、大丈夫？①プレタスク 第24回：第6課 地球の環境、大丈夫？②メインタスク 第25回：第6課 地球の環境、大丈夫？③ポストタスク 第26回：第6課 地球の環境、大丈夫？④復習 第27回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？①プレタスク 第28回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？②メインタスク 第29回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？③ポストタスク 第30回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？④復習 第31回：第4課～第7課 復習、1学期のまとめ
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	漢字・語彙〔ごい〕の小テスト 30% 作文：30% その他の活動（文型・表現学習、発表など）：40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所〔かしょ〕を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。

教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程〈2022〉『タスクベースで学ぶ日本語中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐〔おそ〕れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 class form and method	講義・課題・活動
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中級（聴解B） Intermediate Japanese (Listening B)
副題 subtitle	一般日本語中級（前半・後半）
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、B1の学生。
単位 credit	2単位（2 Credits）
学期 semester	後期（Ⅱ semester）
曜日 day 時限 period	月5・6
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ニュースの構成や表現を意識しながら、ニュースのポイントを聞き取る力を養成する ・身近な話題を話す日本人大学生の話し方を聞き、理解する
授業の概要 course description	ニュース 全体を理解する、ポイントをつかむ、詳しく理解する、内容を確認する、発音を確認する ニュースに関して話す 日本人大学生の話し方を聞き、その特徴を理解する
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第1課「ペンギン、逃げ出す」 第2回 第2課「一足先に夏、ビアガーデンオープン」 第3回 第3課「眠い日本人」 第4回 第6課「北海道に雷雨」 第5回 第7課「アニメの聖地巡礼が人気」 第6回 第9課「ネットにいじめの動画、中学生を逮捕」 第7回 第15課「音楽で地方を元気に」 第8回 中間テスト 第9回 第19課「一夜で銅像19体に赤い服」 第10回 第24課「企業による学校向け出張授業」 第11回 第31課「世界初、紙のカミソリ発売」 第12回 第32課「ブラック校則、見直しへ」 第13回 第35課「ユニークな自動販売機」 第14回 第38課「ウーブン・シティ、建設始まる」 第15回 自分でニュースを選んで聞き、分かったことをまとめ、発表する 第16回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 10%、中間テスト 30% 期末テスト 30% 自分で選んだニュースの発表とレポート 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習 テーマごとにコメントができるように準備しておく 復習 ニュースに出た新出語彙やニュース特有の表現をノートにまとめる
教材・教科書 text	瀬川由美・紙谷幸子(2022)『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解40』 スリーエーネットワーク
参考文献 references	鎌田修監修 山森理恵・金庭久美子・奥野由紀子(2021)『リアルな会話で学ぶにほんご初中級リスニング』The Japan Times. NHK New Web Easy https://www3.nhk.or.jp/news/easy/
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・ HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動（グループディスカッション）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中級（スピーチ・ディスカッションB） Intermediate Japanese (Speech & Discussion B)
副題 subtitle	b
対象学生	クラス分けテストで、中級に分けられた学生。または、日本語能力試験でN3合格レベルの学生
単位 credit	2単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火7・8
授業形式 class format	講義と活動
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小山 宣子（国際連携本部） Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	日本の大学で日本人と同じ授業を受けたい時、授業中のディスカッション、グループの発表、課題として学生などへのインタビューなどが日本語でできることは大事になってきました。このような言語活動が日本語でできるように、必要なことを学びます。3分前後のスピーチ、5分前後の簡単なディスカッションができるようになります。
授業の概要 course description	授業の進め方 1 教科書のビデオを見て、課で勉強する言語活動を具体的に理解します。 2 テーマについて自分が話したいことを考えてメモします。 3 教科書で、言語表現や構成を学習・確認します。 4 一人ずつスクリプトを作り、ウェブサービスでイントネーションやアクセントも調べます。 5 パフォーマンスを繰り返し、自己評価やグループ内評価を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	1回目 授業の説明 2回目 UNIT01 自己紹介 自己評価チェック、テーマを決めよう 3回目 UNIT01 自己紹介 流れと表現の確認 4回目 UNIT01 自己紹介 練習しよう、発表会 5回目 UNIT01 自己紹介 ビデオ撮影、自己評価 6回目～9回目 スピーチ2 10回目～15回目 ディスカッション2
成績評価方法及び 点基準 method of evaluation	授業中の小テスト（流れと表現） 20% 課題提出状況（Teamsでスクリプトを読み上げる、イントネーションを調べる） 30% 毎回のパフォーマンス 20% 期末試験 30%
準備学習（予習・復習）等の 内容 preparation for class	授業の前に教科書に目を通してから来てください。
教材・教科書 text	『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』凡人社 ¥1500+税
参考文献 references	VIDEO 中級 - Intermediate -: 日本語で話そう！-中級日本語口頭表現教材- ※教材のビデオがオンラインで見られます。 https://e-edu.muc.meiji.jp/contents/jpdiscuss/contents/index2.html 韻律読み上げチュータズズキクン ※文章のイントネーションが調べられます。 https://www.gavo.t.u-tokyo.ac.jp/ojad/phrasing
留意点・予備知識 remarks	最終的なパフォーマンスはビデオで撮影します。

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールやTeamsのチャットで聞いてください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義と活動
その他 other	前期と後期は、流れはおなじですが、トピックは違います。 シラバスの内容には変更があり得ます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（読解B）【A2】 Upper Intermediate Japanese(Reading B)【A2】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火 5・6
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	大学・大学院進学に必要なレベルの日本語文を読む力、読んで発信する力を身に付ける。
授業の概要 course description	多彩なジャンルの読みものを読んで、既知の語彙表現を使って概要をつかみ、未知の語彙表現を習得し、正確に内容理解し、読後感を適切に表す
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 01 働かない働きアリ 第3回 02 血液型 第4回 03 言葉の意味 第5回 04 IT社会 第6回 05 喫煙 第7回 06 Kawaii 第8回 07 若者 第9回 08 いじめ 第10回 09 子どもの名前 第11回 10 高齢化の中で 第12回 応用読解1 第13回 応用読解2 第14回 応用読解3 第15回 まとめ 第16回 修了テスト
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 40% 課題 40% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	全体課題や担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『日本語学習者のための読解厳選テーマ10【中上級】』 にほんごの凡人社
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（作文B）【A4】 Upper Intermediate Japanese(Writing B) 【A4】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の学習者
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川以智子（非常勤）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	中上級以上の語彙・表現を用いて、適切な場面でより正確で適切な日本語作文を作成できるよう、作文技術の向上を目指します。
授業の概要 course description	「弘前」というテーマのもとで、作文の全体構成に沿って、作文に必要な技術を用いた文を習得し、少しずつ書き進めていって、最終的にレポート作文を完成させます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 作文の技術「定義」 第3回 作文の技術「引用」「伝聞」 第4回 作文の技術「状況描写」 第5回 作文の技術「手段・方法」 第6回 作文の技術「列挙」「順序」 第7～8回 作文の技術「情報分析」 第9～10回 作文の技術「比較・対比」 第11～12回 作文の技術「問題提起」 第13～14回 作文の技術「意見・提案」 第15回 全体作文完成 第16回 作文発表とフィードバック 進行状況などにより、変更する可能性あり
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業参加度 40% 課題 30% 最終作文30%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	授業時に提示 購入する教科書はなし
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	特になし
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級アカデミックジャパニーズ（聴解B）【A6】 Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B) 【A6】
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで、中上級（聴解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	月1・2
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解する。 聞いた講義について、ノートのとおり方を学ぶ。 理解した内容を、説明する方法を学ぶ。 理解した内容を、短い文章にまとめる方法を学ぶ。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる（話す、書く）練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、第9課「剣道」（1） 第2回：第9課「剣道」（2） 第3回：第10課「落語」（1） 第4回：第10課「落語」（2） 第5回：第11課「そばをすする音」（1） 第6回：第11課「そばをすする音」（2） 第7回：第12課「将棋」（1） 第8回：第12課「将棋」（2） 第9回：中間テスト、第13課「南極」（1） 第10回：第13課「南極」（2） 第11回：第14課「明治神宮の森」（1） 第12回：第14課「明治神宮の森」（2） 第13回：第15課「虚偽の自白」（1） 第14回：第15課「虚偽の自白」（2）、「三内丸山遺跡の特徴」（1） 第15回：「三内丸山遺跡の特徴」（2） 第16回：期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：30% 期末テスト：30% クイズ：20% 課題、授業時のパフォーマンス：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題：聞き取った内容について、ノートを作成すること。 聞き取った内容を、決められた字数で文章にまとめること。
教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	特になし
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	授業方法：授業は以下のように進める予定です。 (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとおり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（文法B）【A8】 Upper Intermediate Japanese(Grammar B) 【A8】
副題 subtitle	
対象学生	中級以上の留学生
単位 credit	
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子（非常勤）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになること、また将来国で日本語教育に携わることができる知識を身につけることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになるよう導きます。中級までの文法事項を正確に理解し、適切に使用するために、項目ごとに練習問題や会話文作成を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第3回 日本語の文末形式 2 第5回 日本語の表現機能 確信・主張 第7回 日本語の表現機能 判断・推量 第9回 日本語の表現機能 伝聞 第11回 日本語の表現機能 依頼・懇願 第13回 日本語の敬語表現 1 第15回 まとめ 進行の状況によって予定を変更することもあります。 第2回 日本語の文末形式 1 第4回 日本語の表現機能 感覚 第6回 日本語の表現機能 不可能 第8回 日本語の表現機能 願望 第10回 日本語の表現機能 提案・助言 第12回 日本語の表現機能 感謝・恩恵 第14回 日本語の敬語表現 2 第16回 テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度40%、各回の課題達成度40%、修了テスト20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	各回の課題を期限までに提出し、授業で解説された後、誤答を訂正したものを再提出することとする。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料はTeamsにファイルで提示
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20、考えて解いて学ぶ日本語教育の文法、他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面形式 課題提出などでTeamsを利用する。
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】 Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B【A10】
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	水3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本についての理解を深める 2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に付け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる 3. 自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表し、相手の意見を聞いて内容をまとめ、論理的に反論を述べたり、終着点を協働で見つけ出すことができる
授業の概要 course description	○日本文化や生活にかかわる文章や資料を見て、自らテーマを見つけ出しそれについて調べ、スライドを用いて発表する。 ○また、テーマによって授業中、ディスカッションやディベートをする場を設ける。その際、自分の意見を述べたり、相手の意見を聞いたりする態度や、冷静に分析する姿勢、異なる意見に耳を傾け互いに協力して問題解決の方法を考え出す方法を身につける。 ○グループディスカッションの内容を踏まえ、グループで決められたテーマについてスライド作成をし発表する。その際、日本語の発表で使用される言葉遣いや表現、発表の際の立ち振る舞い等について学ぶ
授業の内容予定 schedule of the class	第1, 2, 3回 オリエンテーション、Unit1 「日本ってどんな国？」地理・気候・風土について知る・調べる・まとめる 第4, 5回Unit2 「都市の暮らし・地方の暮らし」都市間の格差について日本の現状を知る・調べる・まとめる・意見を言う 第6, 7, 8回Unit4 「いただきます」日本の食文化について知る・調べる・まとめる 第9, 10, 11回Unit5 「季節を楽しむ年中行事」日本の年中行事について知る・宗教観との関わりを学ぶ・ディスカッション1 第12, 13回Unit6 「知っておきたい日本の歴史」日本の歴史について自ら調べる・知る・まとめる・発表する、日本の大学生が持っている歴史観などを知る・ディスカッションして意見を述べる 第14, 15回 グループで発表テーマを決め、調べ学習を行い、スライドを作成、授業内で発表する
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	日本の文化や生活、社会についての資料を読み、日本社会についての理解を深めつつ、自国や他国・世界との比較を通して問題点を見つけ、それに対する解決法を提言できること、自分の意見を適切な日本語を用いて述べるようになることを目標とします。授業中のディスカッションや教師とのやり取りの中で、積極的に自分の意見や考えを述べ、適切な日本語とはどのようなものか、意見を述べ合う際にはどのようなふるまいをすべきなのか、社会・世界の中にはどのような問題があるのかなどに常に考えを巡らせてください。授業前に必ず教科書の該当部分を読み、授業で話したことから自分でテーマを見つけ、そのテーマについて授業後調べ、まとめて提出する、そのまとめをもとに発表する、ディスカッションするという訓練をしていきます。

教材・教科書 text	『クローズアップ日本事情 15 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times
参考文献 references	授業内に適宜示します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストで中上級・上級になった人、または日本語能力試験N2以上の日本語能力がある人が対象です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング
その他 other	MSpower pointを使用して発表をします。日本語フォント（MS明朝やゴシックなど）をインストールしたPCを用意してください。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級（読解B）【B2】 Advanced Japanese (Reading B) 【B2】
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	金1・2
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、14. 日本型雇用システム（1）（1回目） 第2回：14. 日本型雇用システム（1）（2回目）、15. 日本型雇用システム（2）（1回目） 第3回：15. 日本型雇用システム（2）（2回目） 第4回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（1回目） 第5回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（2回目）、17. どうする？ 長時間労働（1回目） 第6回：17. どうする？ 長時間労働（2回目）、18. なぜコミュニケーション能力か（1回目） 第7回：18. なぜコミュニケーション能力か（2回目） 第8回：中間テスト、19. インターネットの隆盛（1回目） 第9回：19. インターネットの隆盛（2回目） 第10回：20. ロボットの活用（1回目） 第11回：20. ロボットの活用（2回目）、21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（1回目） 第12回：21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（2回目）、 第13回：22. 「ビッグデータ社会」（1回目） 第14回：22. 「ビッグデータ社会」（2回目）、23. 本当に「原発は安い」のか（1回目） 第15回：23. 本当に「原発は安い」のか（2回目） 第16回：期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。特に、担当の学生は、内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。
教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク

参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	特になし
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。 (1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明 (2) 発表内容に対する質疑応答 (3) 発表内容に関する検討 (4) 教師からの解説
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語上級アカデミックジャパニーズ（聴解作文B）【B4】 Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B) 【B4】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/listening B
対象学生	留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火3・4
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものかを学ぶ 2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける 3) 1)、2) で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける 4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。
授業の概要 course description	アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。また、大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション、【ライティング】ライティングの基礎Ⅰ（原稿用紙の使い方（縦書き・横書き）、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」） 第2回 【ラ】ライティングの基礎Ⅱ（文の基本、記号、引用）【リスニング】第2課「天神様」① 第3回 【リ】第2課「天神様」②【ラ】－説明・紹介する－「自分の好きなもの」 第4回 【リ】第14課「防災教育」①【ラ】－仕組みの説明－ 第5回 【リ】第14課「防災教育」②【ラ】－因果関係－ 第6回 【リ】第5課「開発途上国支援」①【ラ】－理由・経過を述べる－ 「before/afterの文」 第7回 【リ】第5課「開発途上国支援」②【ラ】－比較する－「意見文」 第8回 中間テスト 第9回 【リ】第8課「渋滞学」①【ラ】－判明していることを述べる－ 第10回 【リ】第8課「渋滞学」②【ラ】－定義する－ 第11回 【ラ】－問題点を述べる－「現状の把握と問題点、解決策の提案」 第12回 【リ】第12課「ガラスの天井」① 第13回 【リ】第12課「ガラスの天井」② 第14回 【ラ】－引用する－（データの利用、資料の引用）「論説文」 第15回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物10%、中間テスト30%、期末テスト30%、最終レポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します

教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	『留学生のためのここが大切文章表現のルール』石黒圭・筒井千絵著 スリーエーネットワーク 『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』小森真理・三井久美子著 くろしお出版 『教師と学習者のための日本語文型辞典』グループジャマシ
留意点・予備知識 remarks	※プレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	サークル活動に見る日本社会① Insights in Japanese society through circle activity ②
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月 7・8
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	講義を受けながら自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Aside from lecture, students will participate in student circle activity of choice, submits reports periodically and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 45%、報告 Presentations 30%、最終レポート Final essay 25%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	なしNone
参考文献 references	なしNone
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J.Suwa before you are thinking about quitting circle activity.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語および英語 Japanese and English
その他 other	「サークル活動に見る日本社会①」は履修できません。 Not eligible for 'Insights into Japanese Society through Circle Activity ①'.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	国際地域・社会・文化ートランスナショナリズムの音楽ー【教養】
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月9・10
授業形式 class format	講義 Lecture
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎（国際連携本部） SUWA Jun'ichiro (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多元的な知性・知恵・実践 的教養能力を身につけること Student will acquire the knowledge with multifaceted aspect through understanding cultures of the world.
授業の概要 course description	音楽を聴く（あるいは演奏・創作する）ことは、人間として存在することの重要な一条件である。しかし、世界の音楽文化は多様であって、その背景には複雑な事情が存在している。この授業では、多元的な知性を育みながら世界の中の一地域で暮らすことの特殊性と、人間の音楽による営みの普遍性という二つの側面を有する音楽がもつ文化的な力について理解を深める。 Music listening (and making) is an indispensable condition of humanity. However, musical culture is globally various and behind it there are complex backgrounds. This class will deepen understanding about particularity of regional lives as well as universality of life with music.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論「近い体験・遠い体験」Introduction "near and far experience" 2. P0序：「語りえぬもの」のエスノグラフィー Introduction 3. 『扉をたたく人』視聴 The Visitor 4. 『扉をたたく人』リフレクション The Visitor reflection 5. P01：「いま－ここ」の神話論理 Chapter 1 6. P02：呼びかけと振り向き Chapter 2 7. アフリカン・ディアスポラ① African diaspora 8. アフリカン・ディアスポラ② ditto 9. P03：テリトリーを生み出す「切り分け」（前）Chapter 3 10. P03：テリトリーを生み出す「切り分け」（後）Chapter 3 (cont'd) 11. 南アジア・西アジア・マグリブ South Asia, Western Asia and Magrib 12. ポストコロニアリズム Postcolonialism 13. P04：「あいだ」の感覚（前）Chapter 4 14. P04：「あいだ」の感覚（後）Chapter 4 (cont'd) 15. P05：メラネシアのポップ Chapter 5 16. P06：トゥバのホームメイ Chapter 6 ※P0＝『パフォーマンスの音楽人類学』Performance no Ongaku-jinruigaku
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	リフレクションペーパー90% Reflection paper 授業参加10% Participation
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：教科書を読み次回の導入を理解する。Have an idea about next lecture's topic 復習：リフレクションペーパーの振り返り。Review reflection paper
教材・教科書 text	『パフォーマンスの音楽人類学』（勁草書房 2012年）
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	世界の音楽文化に興味をもって授業に臨んでください。Students are expected to share a deep interest in music.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9 ・ 1 0 時 限 目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Reflection paper in English is accepted but the class is entirely in Japanese. Interest in music with intellectual scope helps. You are also encouraged to get a copy of text book.
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成【教養】 Modern Japanese literature and the formation of identity
副題 subtitle	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	火5・6
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得すること
授業の概要 course description	In this course we will examine the lives and works of modern Japanese authors whose writings illuminate the formation of Japanese identity. In addition to discussing assigned texts and examining related resources, we will view screen versions of selected works. 近代文学に反映されている日本人のアイデンティティの形成を考察します。テキストに関するディスカッション、関連資料の解説に加え映画を鑑賞することを通して作品の理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1: Introduction Session 2~4: The broken commandment 『破戒』 Session 5~6: Foreign studies 『留学』 Session 7~9: No longer human 『人間失格』 Session 10~11: A personal matter 『個人的体験』 Session 12~14: Deep river 『深い河』 Session 15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work(100%). 評価はレポート（100%）に基づいて行なわれます。
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be required to read literary works and prepare for the discussions which will be held at each session. Review: They will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習：学生は作品を読み、毎回行なわれるディスカッションの準備をします。復習：コースの内容を振り返りながらレポートに取り組みます。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料は配布されます。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Thursday /4 (14:20～15:50) by appointment. オフィス・アワー木曜日/4 (14:20～15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクト演習-津軽地域文化国際共修B-【教養】 Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B-
副題 subtitle	津軽地域文化国際共修(つがるちいきぶんかこくさいきょうしゅう) B [Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru B-]
対象学生	留学生、日本人学生2, 3, 4年生
単位 credit	2
学期 semester	後期/Second Semester
曜日 day 時限 period	火7・8
授業形式 class format	グループワーク、レクチャー、演習 Group work, Lecture, Exercise
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部) Chiyoe, TAKAHASHI (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	①青森県津軽地方に残る日本文化的な歴史遺産や伝統文化等についての理解を深める ②地方に残る歴史・文化的資源を教材として学ぶことを通して、他国の文化と比較してどのような特徴があるかを客観的に見る視点を身につける ③異文化を背景に持つクラスメートと一緒に活動することによって、国・言語・文化を超えて相手のことを理解する異文化コミュニケーションの能力を身につけ、自分の身の回りにある社会的な問題に気づき、柔軟な発想で解決する方法を提言することができるようになる ①Deepen student's understanding about the Japanese culture, history, and traditional culture, etc. especially which left in Aomori-ken Tsugaru area. ②By studying the history and culture of the region, students can objectively see the characteristics of your own culture compared to the culture of other countries. ③By working with classmates who have different cultures, you can acquire the ability of cross-cultural communication to understand the other person regardless of country, language, and culture, and become aware of social problems around you, and will be able to propose solutions with flexible ideas.
授業の概要 course description	青森県津軽地方の観光地や日本の伝統文化、伝統工芸等について留学生と日本人学生の混成メンバーのグループを作り調査、まとめ、発表、ディスカッションを行う。また、津軽の歴史文化専門の教授や伝統工芸の職人さん、伝統文化の伝承に関わる方をゲストスピーカーとして授業に招き講演、ワークショップを行い、実際にこぎん刺しをしたり、こけしの絵付けをしたり、ねぶた絵を描くなどの体験を行う。その後、グループに分かれ、津軽文化の中から一つテーマを決め、グループワークで調べ学習・ディスカッションを行い、津軽地方の歴史・文化を世界に発信するためのPR動画を複言語で作成する。本動画は、伝統工芸の工房を訪ねたり、そこの職員の方にインタビューをするなどして大学外で学生自身が情報収集、撮影を行い編集までをおこなう。「津軽地方を世界にPRする」ことを目的とし、日本人学生と留学生が協働で本プロジェクトに取り組み、日本文化の基礎知識と地方の豊かな文化資源の普遍的価値を再発見し、大学から地方活性化に寄与する方法を考え世界に津軽文化を発信する機会とする。 In order to learn about the Japanese culture, especially those traditional culture, artcrafts, etc. which is left in the Tsugaru region of Aomori prefecture where Hirosaki University is located, students will do groupwork to make research and presentation about the regional culture in Tsugaru. We invite special guests to make special lectures and workshops. The special guest, one is a Japanese culture(Tsugaru regional history and culture) experts professor, three of them are the professional craftman or teacher of traditional artcrafts in Tsugaru(Kokeshi, Koginzashi embroidery, Neputa picture drawing). And We will have three workshops which we actually make an artcrafts and visit to Kokeshi-museum in Kuroishi-city by bus as a field trip. After all the lectures and workshops, you pick up one traditional culture in Tsugaru region as a theme of PR video making in multilingual. Students themselves go visit to traditional craft factory or sightseeing spots to shoot videoand gather the materials for it. Through these activities outside of the university, such as interviewing local staff, Japanese students and international students collaborate on the project work to "promote the Tsugaru region to the world". Finally, It will be an opportunity to rediscover the basic knowledge of Japanese culture and the rich cultural resources of the region, and to think about ways to contribute to regional revitalization from the university and disseminate it to the world.

授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーションと他己紹介 以降、以下の内容について授業内でスケジュールを立てます： 1. 津軽地方の文化や伝統工芸について、グループ発表（5つのテーマから選ぶ：ねぶたまつり、こけし、こぎん刺し、青森の文化、文化と社会の結びつき） 2. ゲストスピーカー、プロの職人さん、伝統工芸に係る人による講演、ワークショップ（テーマ：こぎん刺し、こけし、ねぶた絵他） 3. 黒石市こけし館へバスツアー（見学と絵付け体験）（土曜日に行きます） 4. グループワーク テーマ決め、ディスカッション、動画作成案の企画立案、動画撮影、編集、発表準備 第15回 動画発表会、総括 ※こけし館訪問と、ねぶた絵ワークショップは4月～5月の土曜日に行います。 ※6月終わりから7月中は授業を行いません（8時間4コマ分を振り替え）。その間にグループワークでビデオ作製をしていただきます。 ※最後に作成する津軽文化のPRビデオは多言語で作成してください。 Contents of this class: 1. Group presentation to prepare to research of regional traditional culture as a group mixed by international students and Japanese students for 4~5 themes(About the features of Aomori , Tsugaru cultures, Neputa-festival, Kokeshi doll, Koginzashi embroidery, The connection of the culture and the society). 2. The special lecture from the professor major in Tsugaru historical culture. 3. Lectures and workshops by guest professional craftsmen (Theme:Koginzashi embroidery, Kokeshi doll, Neputa picture, or other 4. Field tour to the Kokeshi museum in Kuroishi city by bus. 5. Making PR multilingual video(choose the theme, research and discussion, planning of video creation, video shooting, editing, presentation preparation) as a final task. 6. Final presentation of your PR Video in multilingual. ※We will arrange the date of those lectures, workshops, and field trip(2 times on Saturday in April or May) ※From week11 to week14 we have no class, but creating video by groupwork. ※The first class is for orientation and peer-introduction activity.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加態度10%、グループワークにおける活動（ポートフォリオ、相互評価による）40%、作成動画・発表の内容と最終レポート50% Class participation attitude10%、Activities in group work (self and peer evaluation)40%、Contents of the created video and presentation and the Final Report 50%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	授業内で指示します。 It will be given in class.
教材・教科書 text	適宜プリントを配布します。
参考文献 references	Information paper will be distributed as appropriate.

留意点・予備知識 remarks	この授業は留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。使用言語は日本語ですが、日本語能力が十分でない学生も参加できるよう英語での通訳ややさしい日本語に直して解説する等します（できればN3以上。N4の人でも可）。最終的に作成してもらう動画は、多言語を使用したものを想定していますので、日本人学生もグループワークにおいては、留学生のメンバーとコミュニケーションを取ってこのプロジェクトを行っていただきます。このため、英語を使うのみでなく、易しい日本語を使ったり、ジェスチャーや漢字を使ったりして、学生間のコミュニケーションを積極的に行い、意思疎通を図ってください。 また、動画撮影に必要な機材は国際連携本部から貸し出しが可能です。台数に限りがあるので要相談です。スマホ等を使用いただいてもかまいません。できれば動画編集ソフトの知識等があると良いですが、なくてもメンバーと協力して勉強して身につけていきましょう。 This class is an "international co-education" class that both international students and Japanese students learn together. The language used is basically Japanese, but English translations or easy Japanese will be provided (desirely more than N3, but N4 level students can participate). The final PR video must be created in multiple languages, so students who take this class will be asked to communicate with classmates from all over the world to carry out this project in group work. For this reason, please not only use Japanese or English, but also use easy Japanese, gestures or Chinese characters to actively communicate with each other. The equipment required for video recording can be rented from the D-IEC in Hirodai, but consultation is required as the number is limited. You can use your smartphone etc. If possible, it would be nice if you had knowledge of video editing, but even if you don't have it, let's study and acquire it in cooperation with the members.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。 Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プロジェクトワーク、講演、グループワーク Project work, lectures, group work
その他 other	社会情勢やゲストスピーカーの都合により授業の内容が変更になる場合があります。 *This syllabus is subject to change based on the needs of the class. *The schedule or theme of the lectures by guest speakers is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	現代日本学－日本の表象文化【教養】 Japanese Culture and Representation
副題 subtitle	日本の表象文化: Japanese Representation Culture
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Second Semester
曜日 day 時限 period	火 9・10
授業形式 class format	Lecture
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること To deepen understanding about Japanese culture and civilization. ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること To understand the past, present and future of Japan and other areas of the world through the knowledge about Japanese culture and civilization.
授業の概要 course description	教科書を参考にしながら『鬼滅の刃』を読解し、そこに現れる表象について比較文化的な理解を深める。 By referring to the textbook, the text of anga Daemon Slayer is analyzed to deepen understanding aboutn the representations expressed in the text cross-culturally.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 Introduction 2. 『鬼滅の妖異学』① Kimetsu no Yoigaku 1 (to be continued below) 3. 『鬼滅の妖異学』② 4. 『鬼滅の妖異学』③ 5. 『鬼滅の妖異学』④ 6. 『鬼滅の妖異学』⑤ 7. 『鬼滅の妖異学』⑥ 8. 『鬼滅の妖異学』⑦ 9. 『鬼滅の妖異学』⑧ 10. 『鬼滅の妖異学』⑨ 11. 『鬼滅の妖異学』⑩ 12. 『鬼滅の妖異学』⑪ 13. 『鬼滅の妖異学』⑫ 14. 『鬼滅の妖異学』⑬ 15. まとめ
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Papers 90% 授業参加 Participation 10%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：教科書を読む。『鬼滅の刃』のストーリーを十分に理解しておく。Read the textbook and grasp the storyline of Daemon Slayer. 復習：リフレクションペーパーの振り返り。Reflection on returned reflection papers.
教材・教科書 text	『鬼滅の妖異学』（勁草書房 2022年）Kimetsu no Yoigaku, Keiso Shobo, 2022.
参考文献 references	吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社 2019年）English Translation: Daemon Slayer: Kimetsu no Yaiba, VIZ Media, 2019. その他、授業で紹介する。Other references will be introduced in class.

留意点・予備知識 remarks	授業中にキャラクターやあらすじなどの説明はしないので、吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社 2019年）を全巻読んでおくこと。 Lecture will be in Japanese. Students are expected to familiar with the story, setting, and characters of Daemon Slayer beforehand. If your reading skill is inadequate but still wishes to take this course, see the instructor to discuss about substitution. 漫画のあらすじやキャラクターを紹介するサイトを利用する際には安全性に十分に配慮すること。Beware security when visiting websites.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義の後でリフレクションペーパーを書いてもらいます。 Lecture and reflection paper.
その他 other	講義は日本語で行いますが、パワーポイント資料は英語を使用します。提出物は英語でも可能です。 Lecture is in Japanese entirely. PowerPoint presentation is in English. Submission in English is welcome.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	地域の社会・文化-津軽の近代文化史-【教養】 Survey of the modern cultural history of Tsugaru
副題 subtitle	地域の社会・文化-津軽の近代文化史-
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	水 5・6
授業形式 class format	Lectures and fieldtrips レクチャー・フィールドワーク
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration, Sugiyama Yuko 杉山祐子 and Yamada Itsuko 山田巖子 (Humanities and Life Sciences人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	地域の社会と文化を人間の生活の営みとの関連で考察し、その仕組みを理解すること
授業の概要 course description	This course is an introduction to the modern cultural history of the Tsugaru region. It guides students on a historical journey from the Jomon era to the present. この授業は津軽近代文化史の入門です。縄文時代から近代にいたるまでの津軽文化の変動を追います。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により、下記の予定を変更する場合があります。 1. Introduction/概要 2. Field trip to Samurai dwellings 武家屋敷 3. Preparation for visit to Hirosaki castle 弘前城 4. Hirosaki castle visit 弘前城見学 5. Visit to kenjutsu dojo 剣術道場訪問 6. Oishi bugakuryu gardens 大石武学流庭園 7. Zazen 座禅 8. Itako and Jizo イタコと地蔵 9. The Tsugaru shamisen 津軽三味線① 10. The Tsugaru shamisen 津軽三味線② 11. Mt Iwaki 岩木山① 12. Mt Iwaki 岩木山② 13. Mt Iwaki 岩木山③ 14. Modern authors of Tsugaru 津軽の近代文学 15. The Modernization of Tsugaru 津軽の近代化
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work (100%) 評価はレポートに基づいて行います。(100%)
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Readings will be assigned to prepare for lectures. Review: Students will reflect on the content of classes in order to complete their reports. 予習: 資料を読み、授業の予習を行います。 復習: 授業の内容を振り返り、レポートを書きます。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配ります。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in both Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いてコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office Hour: Thurs (14:20~15:50) by appointment. オフィス・アワー 木曜日 (14:20~15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員: 20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	地域の食と産業化-Cultural anthropology of local food and dietary practices【教養】 Japanese Local Food Culture and Dietary Practices
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	水 5・6
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation and Field Study
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎（国際連携本部）、杉山祐子（人文社会科学部）、近藤史（人文社会科学部） SUWA Jun'ichiro (DIEC), SUGIYAMA Yuko (Humanities and Social Sciences), KONDO Fumi (Humanities and Social Sciences)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	○青森の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in Aomori from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として青森の食が持っている潜在性について、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, potential of cultural resource in Aomori local food will be explored.
授業の概要 course description	○青森の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in Aomori from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として青森の食が持っている潜在性について、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, potential of cultural resource in Aomori local food will be explored.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 概説 General Introduction: 2. フィールドトリップのガイダンスGuidance for Field Trip 3～5. 直売所フィールドトリップ:Field Trip to farmer's market. 6. 発表1 Presentation of farmer's market 7. 発表1の振り返り Reflection on Presentation 8. 保存食の世界（塩蔵、乾物）Preservation (Salting, Drying) 9. 保存食の世界（発酵食品）Preservation (Fermentation) 10. フィールドトリップのガイダンスGuidance for Field Trip 12～13. 津軽あかつきの会フィールドトリップ 14. 発表2Presentation 15. 発表2振り返りReflection on Presentation／まとめConclusion
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	発表80%、授業参加20% Presentation (80) and productive participation (20).
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	授業内容と発表に関する予備知識を得、それらに関するまとめを行うこと。preparation for class materials (upon announcement), and preparation and reflection on assignments.
教材・教科書 text	TBA
参考文献 references	TBA

留意点・予備知識 remarks	発表を含む授業のすべてを英語で行います。English is the standard regardless of number of Japanese natives. 履修制限あります）。 鯨ヶ沢町へのフィールドトリップは授業4回分を当てて休日に実施します。The Field Trip to Ajigawasa counts 4 class hours and scheduled on weekend. 津軽あかつきの会へのフィールドトリップは昼休みの時間に出発します。The field Trip to Tsugaru Akatsukino Kai departs at lunch break. 食文化体験学習の食事代は、個人負担です（1,500円程度）。Pay your own meal for field trip. 授業の順番は暫定のものです。確定版は第1回目の授業にお知らせします。Finalized schedule will be announced at the first day of class.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日9・10時限目（諏訪淳一郎） Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	In English entirely.
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	現代日本学－現代日本文化論【教養】 Contemporary Japanese Culture
副題 subtitle	現代日本文化論 Contemporary Japanese Culture
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Second Semester
曜日 day 時限 period	水7・8
授業形式 class format	Lecture
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	SUWA Jun'ichiro (DIEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を 獲得すること Through crosscultural analysis about Japanese and other cultures of the world, students will deepen understanding about Japanology//
授業の概要 course description	アニメ『千と千尋の神隠し』の視聴しながら、日本と世界の文化の比較を行い、それぞ れに関する知識を深める。 Cross-cultural analysis will take cases from Spirited Away (2000).
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 introduction 2. 『千と千尋の神隠し』視聴① Spirited Away 3. 『千と千尋の神隠し』視聴② 4. 『千と千尋の神隠し』視聴③ 5. 『千と千尋の神隠し』視聴④ 6. 神話的現実について Mythical reality 7. 「ねじ式」Nejishiki 8. 「銀河鉄道の夜」Galaxy Express 9. 湯立神楽と来訪神 kagura and visiting gods 10. 血と不浄 blood and profenity 11. カオナシの場所性 No Face 12. ヘテロトピア heterotopia 13. オルフェウスとヤヌス Orpheus and Janus 14. 正統的周辺参加 Legitimate peripheral participation 15. まとめ conclusion ※順序が変わることがあります。
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Paper 60% レポート Report 40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：作品の内容を理解しておく。Understand contents of the anime. 復習：リフレクションペーパーによる学修 Reflection on reflection papers.
教材・教科書 text	なし
参考文献 references	授業中に紹介する。TBA
留意点・予備知識 remarks	パワーポイントは英語で表示し、講義は日本語で行う。 English projector, lecture in Japanese.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義の後にリフレクションペーパーを書いてもらいます。 Reflection paper after lecture in each class.
その他 other	

教養科目

授業科目名 subject 〔英文名〕	異文化間コミュニケーション【教養】 Intercultural communication
副題 subtitle	
対象学生	日本人学生・留学生（中上級以上の学習者：JLPT N2を取得済み、または取得を目指す人）
単位 credit	2単位（2 Credits）
学期 semester	後期（Ⅱ semester）
曜日 day 時限 period	水 9・10
授業形式 class format	講義・演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多元的な知性・知恵・実践 的教養能力を身につけること ○国内の地域差も含めた文化の違いを考える際に参考となる基本的な考え方を知る ○ケーススタディやクラスメートとの対話を通して、様々な立場からある状況について見 ることができる ○タンデムパートナーやその文化について知る
授業の概要 course description	異文化間コミュニケーションについての講義を聞き、各回のテーマに関して、留学生と日 本人学生による小グループでの意見交換と考察を行います。各回のテーマに出てくる概念 を元にして、自分や相手の体験を語り合い、ケーススタディを分析していく中で、今後、 起こりうる異なる背景を持つ相手とのコミュニケーションを円滑に行えるような知見を養 います。 授業外活動として、テレタンデム（言語交換 ＊ペアにより日本語中心、日本語と英語、日 本語と学習している言語、など異なります。）
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション BEVIについて 第2回 文化とは？ 見える文化と見えない文化 第3回 コミュニケーションスタイルの違い 第4回 ステレオタイプ 第5回 カルチャーショック 第三者返答 第6回 自分の方言と若者ことばを教え合おう 第7回 カルチャーマップ① ケーススタディ 留学編 第8回 カルチャーマップ② ケーススタディ 職場編 第9回 ドキュメンタリー『ハーフ』①最も印象に残った人物 第10回 ドキュメンタリー『ハーフ』②将来への展望 第11回 自分史 ライフチャート やさしい日本語 第12回 価値観 自分の文化で大切にされていること 第13回 異文化感受性発達モデル (DMIS) / 異文化理解力の自己評価 (Value Rubric) 第14回 相互文化的能力 (Byram) 第15回 ふりかえりマップ作り これからしていきたいこと BEVI 第16回 最終レポート提出
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・授業での積極的参加 20% 毎回のテーマについてのコメント 20% テレタンデムとふりかえり 20% 最終レポート 40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	毎回のテーマについてコメントを書き込むこと テレタンデムについてのふりかえりをFormsに書き込むこと

教材・教科書 text	西田ひろ子（2000）『異文化コミュニケーション入門』創元社 エリン・メイヤー（2015）『異文化理解力 The Culture Map』英知出版 ※教科書を購入する必要はありません。
参考文献 references	庵功雄・岩田一成・佐藤琢三・柳田直美（2019）『<やさしい日本語>と多文化共生』ココ出版 オーサ・イエークストロム（2015）『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』KADOKAWA 近藤彩・金孝卿・ムグダ ヤルディー・福永由佳・池田玲子（2013）『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習』ココ出版 マイケル・バイラム（2015）『相互文化的能力を育む外国語教育 グローバル時代の市民性形成をめざして』大修館書店 宮崎七湖（編著）江後千香子・武一美・田中敦子・中山由香・村上まさみ（2016）『留学生のためのケースで学ぶ日本語 問題発見解決能力を伸ばす』ココ出版 「外国につながる子供たちの物語」編集委員会（2020）『まんが クラスメイトは外国人 課題編 一私たちが向き合う多文化共生の現実』明石書店 Bennett, M. J. (2004). Becoming intercultural competent. In J.S. Wurzel (Ed.) Toward multiculturalism: A reader in multicultural education. Newton, MA: Intercultural Resource Corporation. http://www.idrinstitute.org/allegati/IDRI_t_Pubblicazioni/1/FILE_Documento.pdf その他、適宜お知らせいたします。
留意点・予備知識 remarks	留学生の場合は、日本語での講義が理解できること（日本語能力試験N2以上が望ましい）テーマに関する体験や自分の考えについて話し合う時間があります。 計6回ほどのテレタンデムでは日本語のほかに英語や他の学習中の言語で意思疎通する場合があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・テーマに関する対話・テレタンデム
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	国際学生フォーラム【人文】 International Student Forum
副題 subtitle	国際学生フォーラム:国境なき対話
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	水 9・10
授業形式 class format	Lectures and group discussion レクチャーとグループ・ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Sawada Shinichi 澤田真一 (Humanities) Hannah Joy Sawada (Dept.of International Education and collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	To improve communication skills for the purpose of fostering intercultural understanding.
授業の概要 course description	This class is taught bilingually in Japanese and English, for the mutual understanding of International and Japanese students. After an initial introduction to the practice of dialogue, classes will consist of group discussions on a series of topics which will lead on to further communication online with students who are overseas. These activities will be followed by preparation for group presentations of findings.
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1 Introduction Session 2~4 Discussion topic: Difference and discrimination Sessions 5~7 Discussion topic: Gender and sexuality Session 8 Midterm reflections Sessions 9~11 Discussion topic:Poverty/our environment Sessions 12~14 Discussion topic: What changes can we bring about? Session 15 Final reflections
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Individual presentations: 20% Group presentations:40% Written work: 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation will be required for discussions. Review will be required for reflections
教材・教科書 text	handouts will be provided.
参考文献 references	Helpful references will be introduced in class.
留意点・予備知識 remarks	Class capacity: 10 International students and 10 Japanese students.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Hannah Sawada: Thursdays 14:20-15:50 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction is given in Japanese and English. Students are expected to make effort to use both languages to the best of their ability in order understand and learn from each other.
その他 other	

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学－日本の女性による文学－【教養】 Japanese women writers and their literature
副題 subtitle	現代日本学－日本の女性による文学－
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	木5・6
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー・ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得する。
授業の概要 course description	In this course we will read works by Japanese women writers that reflect the evolution of gender roles from the Meiji era to the present. We will discuss the works under consideration, examine related resources and watch screen versions in order to gain a deeper understanding of what they convey. ○明治時代から今日までジェンダーロールを取り上げた日本の女性作家による文学作品について学びます。 ○作品についてディスカッションをし、関連資料の解説に加え映画を見ながら内容を考察します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Introduction 概要 2: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 3: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 4: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 5: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 6: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 7: The Waiting Years 『女坂』 8: The Waiting Years 『女坂』 9: The Twilight Years 『恍惚の人』 10: The Twilight Years 『恍惚の人』 11: The Twilight Years 『恍惚の人』 12: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 13: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 14: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work (100%). 評価はレポート(100%)に基づき、行なわれます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students are required to read materials and prepare for discussions held in each session. Review: They are required to reflect on the content of the course in order to complete their written work. 予習: 学生は作品を読み、授業で行なうディスカッションの準備をします。復習: 学習内容を振り返り、レポートに取り組む。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Classes will be conducted in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 授業は日本語と英語の両方で行ないます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Thursday (14:20~15:50) by appointment. 木曜日 (14:20~15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域の多様性と活性化－多文化共生時代における自己のキャリアを考える②－【教養】 Regional Diversity and Revitalization－Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society②－
副題 subtitle	多文化共生時代における自己のキャリアを考える②(国際共修授業) [Intercultural Collaborative Studies of Career Studies in Multicultural Society]
対象学生	留学生、日本人学生
単位 credit	2
学期 semester	後期 Second semester
曜日 day 時限 period	木 7・8
授業形式 class format	演習・講義・グループワーク Lectures, Group discussion, Exercise
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 (国際連携本部) Chiyoe, TAKAHASHI (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1. 大学で学んだ高度な専門知識を生かして、国や文化を問わず世界で活躍するために、社会人として必要な知識や態度を身につける 2. 多文化共生社会を生き抜くために必要な異文化コミュニケーションの能力を身につけ、社会を構成する一員として生活していくために必要な知識や法律を学び、自らのキャリア形成について考える 3. 異なる背景を持つ人とコミュニケーションし、1つの目的に向かって協働できる人材となるために、世界情勢を学ぶと同時に身近な地域に存在する問題に目を向け、柔軟な思考で問題を解決するための思考力や発信力を身につける Acquire the knowledge and attitude necessary as a member of society to play an active role in the world regardless of country or culture by making use of the advanced specialized knowledge learned at the university. Acquire the ability of cross-cultural communication necessary to survive a multicultural society, learn the knowledge and laws necessary to live as a member of society, and think about your own career development. In order to become a human resource who can communicate with people from different backgrounds and collaborate toward one purpose, while learning the world situation, we will look at the problems that exist in the immediate area and solve the problems with flexible thinking. Acquire the ability to think and communicate.
授業の概要 course description	本授業では、留学生と日本人学生がともに、世界的な視野で「キャリアデザイン」について学び、特にその中でも大学周辺地域（青森県）における地域の人口減少問題や過疎、若者の都会流出、都市と地方の格差、労働人口の減少に伴う外国人労働力の受け入れなどについてフォーカスすると同時に、日本全体、ひいては世界のビジネス事情、社会問題等を取り上げ、グループワークでディスカッションの機会を持つことによって、大学卒業後の一社会人としての世界の中での「自己」の「キャリアデザイン」について考えるきっかけとする。また、5名のゲストスピーカー（テーマ：青森県の経済状況、高度外国人材の日本企業への就職の問題、外国で就職すること（起業家、元弘大留学生））の話を聞き、外国人から見た日本の企業風土や職場でのコミュニケーション、ひいては日本経済や日本社会の抱える問題等について考える機会とし、これらの問題についてグループで調査やディスカッションを行い、最終レポートとしてグループ発表を行う。 In this class, both international and Japanese students will learn about “career design” from a global perspective. Learn about regional disparities and the problem of accepting foreign labor due to the declining working population. Five guest speakers will discuss the economic situation in Aomori Prefecture, the issue of finding employment at Japanese companies for highly skilled foreign workers, and the issue of finding employment overseas (by the Japanese entrepreneur who studied in the United States and found employment there, and ex-international students graduated by Hirosaki-U. found job in Aomori) and use it as material for thinking about what a “career” should be in a multicultural society that has already begun. Textbooks, five lectures, international students and Japanese students on issues such as what it means for people with different cultural backgrounds to work together, and what kind of skills are needed to be active on the world stage. This discussion will be repeated and lead to the final group presentation. In the final presentation, we will set a theme related to “multicultural society and career”, conduct research, analysis, and consideration through group work, and create and present slides. At the end, write a report on what you learned in class.

授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション、自己紹介 第2回 講義1. 日本の「就職活動」について ディスカッション：「新卒一括採用、就活、終身雇用」といった日本の企業風土・就職事情について 第3回 講義2. 『大学生として学ぶ自分らしさとキャリアデザイン』第1章「大学生活で取り組むべきこと」第2章「キャリアをデザインするために」＋ディスカッション 第4回 講義3. 第3章「大学生としてのアイデンティティ」＋ディスカッション 第5回 講義4. 第4章「これからのキャリアをイメージする」＋ディスカッション 第6～10回 ゲストスピーカー5名による講演（感想シート提出） 第11, 12回 グループワーク（発表）教科書第5章～第9章＋ディスカッション 第13回 最終発表テーマ決め、グループ分け 14回 日本の就職活動、企業風土、都市と地方の経済的格差、青森県の状況、青森県内における外国人材の活躍等について、グループでディスカッション、調査、分析、考察、スライド作成 第15回 最終発表会 Week 1 Orientation and self-introduction Week2 Lecture 1. About the system of employment in Japan Week3 Lecture 2. The textbook: 『大学生として学ぶ自分らしさとキャリアデザイン』 Chapter1. 「大学生活で取り組むべきこと」 The things you better to do while in the University」 Chapter2. 「for designing your carrer」＋Discussion Week4 Lecture 3. Chapter 3 「大学生としてのアイデンティティ Identity as a University Student」＋Discussion Week5 Lecture 4. Chapter4. 「これからのキャリアをイメージする Imagine how your carrer in your future」＋Discussion From Week 6～10 The special lecture by five guest speakers(write the report for each lecture) Week11, 12 Presentation by a group : Chapter5～9＋Discussion Week13 Make group for the Final presentation and decide the theme. Week14 Group work(Discussion, Research, Making ppt, preparation of presentation) Week15 Final presentation
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加10% グループワークでの役割分担と自己および他者評価20%、最終発表30%レポート40% Active participation and submissions 10% Division of roles in group work and self- and others evaluation of final presentation 20%, Final presentation 20% Final report 50%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	グループワークでは、締め切りまでにメンバーで協働し発表準備などをするため、授業時間内外での調整が必要です。互いに時間を作り、課題に取り組むようにしてください。 In group work, it is necessary to make adjustments both inside and outside of class time in order to work together and prepare for presentations before the deadline. Make time for each other and work through the challenges.
教材・教科書 text	『大学生として学ぶ 自分らしさとキャリアデザイン』高丸理香他 有斐閣ブックス(2021)
参考文献 references	授業内で適宜、URL等を示します。
留意点・予備知識 remarks	本授業は日本人学生と留学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。文化背景の異なる人々が集まり「仕事」をしたり「生活」をしたりする「多文化共生社会」の中で、世界から見た日本の企業風土や就職慣行とは、外国で就職するとは、国や文化の違いを超え、世界で活躍する人材となるにはどのような能力が必要か、などといったことを留学生とともに学びます。留学生はN2以上（日常会話は支障なくできるレベル）の日本語能力が必要です。日本人の学生も、留学生と話す機会が多々ありますので、やさしい日本語や媒介語（主に英語）を使うなどして、「相手に伝わる」コミュニケーションを積極的に行うようにしてください。本授業の上限定員数は留学生20名、日本人学生20名です。定員数を超える場合は、担当教員による審査により、人数を調整します。 This class or special lectures will be provided in Japanese. So, International students required above N2 Japanese proficiency. But if you are interested in the Japanese business style or the career in Japan, N3 students could take(you should do preparation of every class). Takahashi will provide you some English translation or easy Japanese support. The limited number of students in this class is 20 international students and 20 Japanese students. If the number exceeds the capacity, the number will be adjusted by the examination by the instructor in charge.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。 Please make an appointment by email.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、講演、グループワーク Face-to-face classes, seminar, discussion, group work, presentation
その他 other	※ゲストスピーカーによる講演（テーマ、日程、講演者）は変更の可能性があります。 ※講演会はオンラインで行われることもあります。 ※授業の内容に変更がある場合があります。 *This syllabus is subject to change based on the needs of the class. *The theme or schedule of the lectures by guest speakers is subject to change. *Some of the Lectures may be held online.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-リンゴ栽培、商品開発、マーケティング- Internship B-Apple cultivation, product development, marketing-
副題 subtitle	インターンシップ B：リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who have arrived in Japan and can converse in basic Japanese (English support available) 入国し、日本語で日常会話のできる交換留学生（英語のサポートあります）
必修・選択	選択
単位 credit	（2 Credits）2 単位
学期 semester	（II Semester）後期
曜日 day 時限 period	月 9・10
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Apple cultivation and related industries, of which Aomori prefecture has the largest share in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in cultivation, product development and marketing. 学生に栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at an Apple Orchard, Ridun Co. Ltd. for 6 days during the second semester (Dates to be announced). They will be required to shadow and support a wide range of staff duties. 後期中の6日間リンゴ農園株式会社リズンに勤務し各種の業務をサポートする(日程は後日確定)。
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. They will be required to take a short local train ride from a station close by Hirosaki University in order to reach the orchard. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。弘前大学の近くの駅から電車で通勤します。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-観光PR- Internship B-Tour Promotion-
副題 subtitle	インターンシップ B: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	金 5・6
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップ日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the officials of Hirosaki City International Tourism Division. 弘前市観光部国際広域観光課のスタッフとともに働く機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with city officials, including translating promotion materials, writing posts for the Tourism division's instagram account, and taking part in on-site training for Japanese guides. 市役所職員とともに作業し、資料の翻訳、観光部のインスタグラムの投稿、ガイド学校のフィールドワークに参加。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read resources before attending meetings. 打ち合わせに先立って資料の熟読が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wednesday 水曜日12:40～14:10 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Students will be required to go to the city office to attend staff meetings, which may end later than 14:10, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. This internship will also involve a measure of weekend work. Dates to be announced. 学生が弘前市役所で出席する会議は14:10以降に終了する場合があるため、14:20から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、一定の週末の勤務も含みます。日程は後日調整となります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-シティ・プロモーション- Internship B-City Promotion-
副題 subtitle	インターンシップ B: シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above who have arrived in Japan 日本語中上級以上の語学力を有し、入国した交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	金7・8
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in Japan. 日本で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students who have arrived in Japan first-hand experience of work in municipal administration. このインターンシップは入国できた学生に地元自治体事務に関わる仕事の実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will be required to work at the Hirosaki City Office during their free periods, and pre-arranged weekends when involving city events (Dates to be negotiated and confirmed). Duties will pertain to city promotion and are anticipated to involve gathering information and preparing promotion materials. A measure of remote work may be incorporated, depending on circumstances. 学生の空きコマやイベントと関わる場合はあらかじめ調整した週末、弘前市役所に勤務する。業務は、リソースが豊富な弘前市が近年戦略的に進めている国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わるもので、弘前市の情報の発掘、PR映像、チラシ等の編集、作成、効果的活用の補助などを行う。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki city is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	インターンシップB-Webマーケティング- Internship B-web marketing-
副題 subtitle	インターンシップ B: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of English OR Korean OR Chinese proficiency (other languages will also be considered) 英語、韓国語 あるいは中国語 の高い言語能力を持った交換留学生(他言語も考慮します。)
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	月 7・8
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate tourism-related websites operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available on the internet. They will then conduct marketing analysis of the information they have posted and utilize this for further transmission of information and tour content development. 学生は株式会社コンシスが運営している観光関連情報サイトを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。また発信した情報のマーケティング分析を行い、情報発信や観光コンテンツの開発に活かす。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1~2: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3~13: Weekly online meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Session 14 ~15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1~2: 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 3~13: ミーティング・課題提出 14~15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Office hour Thurs 5・6 (14:20-15:50) by appointment. オフィス・アワー水曜日5・6 (14:20-15:50) 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. Students will be required to go to the company office to attend staff meetings, which may end later than 15:50, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は15:50以降に終了する場合があるため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」(水曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップB-地域ツーリズム- Internship B-Regional Tourism-
副題 subtitle	インターンシップ B: 地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	金 9・10
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間学期中の土曜日に津軽藩ねぶた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Thursday 14:20～15:50 by appointment.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	自主研究 IIA Seminar IIA
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生および授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro（国際連携本部）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深化させる。 To deepen understanding of the study materials.
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物によって採点する。 Based on assignments.
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for designated JASSO programs absolutely.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)
その他 other	

